京城日報
十三日夕刊
一部金二錢 一ヶ月金六十錢 … 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

◉袁氏皇帝承諾

袁總統は長文の申令を以て皇帝たるを拒絕したるも是れ例の形式に過ぎず其の後皇帝たることを承諾したり唯即位式の關係上多少延期せらるべく其間一切現狀維持の方針なりと（北京特電）

◉即位承諾命令交付期
日本の通告來るを豫期す

袁總統が第二勸進を容れ即位を承諾せるは既電の如くにして十二日命令にて交付せらるべしと唯或る時機までは現狀維持すべきこと十一日の申令も豫報せる通りなり支那側は日本より更に何等か通告來るべきを豫期し對應策に就き協議中なり（北京特電）

◉日本の態度決定まで

英米露佛側は日本の態度決定まで輕々しき議論を避け居れり要するに此の際に於ける日本の態度と決心とは日本の眞價を定むる標準と目され居れり（北京特電）

◉希皇此上の要求を拒む

雅典來電に據れば希臘皇帝は此の上聯合國側の要求に應ずる能はざる旨返答したり（紐育電報）

◉獨探と浦鹽電信

浦鹽港にては獨探戒嚴上電報の檢閲を嚴にし爲めに電報の發著遲るゝこと甚し（清津特電）

◉北鮮守備交代兵

北鮮守備交代新兵一千二百七十名は十二日夜シコタン丸にて來り十三日羅南に向へり（清津特電）

雜報

◉奉天國議覆選

奉天省の國民會議々員覆選は十日午前八時より行はれたり定刻選舉人四百九十五名巡按使公署に參集し休憩所に入り茶菓を供せらる段監督は十時親しく臨場して一場の訓諭を爲し次いで投票を爲せり投票終りて正午休憩中食し開票の結果九名當選他は三十二票の定數に滿たざるを以て十一日更めて投票を行ひ候補當選人と共に之を選定することゝなれり（奉天）

◉新民兵の配置數

新民屯の第二十師は五日より參防の爲め各地へ分移し七日終了したるが其配兵數は山海關三營、錦縣三營、臺安、黑山各一營にして新民には三營を殘せるのみなるが右報告の爲め師長范國璋氏は八日來奉辦公所に滯在中なり（奉天）

◉特赦審理進捗
發表は明春三月か

曩に勅令を以て公布されたる減刑に伴ふ特赦は其後各地の裁判所並に監獄に於て鋭意審理を進捗せしめつゝあるが既に地方に於て審議を遂げ總督府司法部に進達し來りしもの約二百餘件に上れり司法部にては各道よりの進達順に從ひ一々審査を遂げつゝあるも各道より全く書類の出揃ふ見込みなく一切の審理を終了するは今後猶ほ一箇月の日子を要す可く該審査終了の上は總督の決裁を經て直に上奏の手續を爲す筈なれば御裁可を見るは多分明年三月頃となる可し

◉移民應募狀況

東拓會社の第六回移民應募に付き其後の情勢を聞くに今回は募集著手期遲延の爲め締切後の今日猶ほ各部衙を經由して徐々に願書の到達を見る有樣なれば目下の處應募總數は猝に測定し難きも現在に於ける願書の到達數は一千數百通に達し此の內既に承認を與へたるものは第一種七百件第二種十件內外なりと而して移民收容土地に關する地方別は目下調査中なれば近く確定發表を見るに至るべし

◉水技官會同（第一日）

各道水產主任技術者會同は既報の如く十三日午前九時より總督府第二會議室に於て開催各道主任技術者は勿論總督府よりは山縣政務總監、石塚農商工部長官、生田水產課長其他水產課各技師、關係各課長、總監部よりは關係課長等出席、石塚長官議場整理の下に日程の如く農商工部所管事項の諮問案に付き協議の上午後三時散會したり

◉大阪貿易出超

十二月上旬の大阪港外國貿易は左の如くにて四十一萬九千七百二十二圓の出超なり（大阪之朝報）

	十一月上旬	一月以降累計
物品輸出額	[illegible]	[illegible]
同輸入額	[illegible]	[illegible]
輸出超過	[illegible]	[illegible]
金銀輸出額	[illegible]	[illegible]
同輸入額	[illegible]	[illegible]
輸出入超過（出）	[illegible]	[illegible]

▲輸出入超過

綿布	[illegible]	[illegible]
絹織物	[illegible]	[illegible]
銅	[illegible]	[illegible]
マッチ	[illegible]	[illegible]
清酒	[illegible]	[illegible]
精糖	[illegible]	[illegible]
水硝子	[illegible]	[illegible]
洋傘	[illegible]	[illegible]
メリヤス	[illegible]	[illegible]
陶磁器	[illegible]	[illegible]
及タオル	[illegible]	[illegible]

▲輸入重要品

繰綿	[illegible]	[illegible]
砂糖	[illegible]	[illegible]
綿花	[illegible]	[illegible]
米及豆類	[illegible]	[illegible]
野蠶糸	[illegible]	[illegible]
牛皮	[illegible]	[illegible]
漆	[illegible]	[illegible]
苧麻類	[illegible]	[illegible]
中國貿易額	[illegible]	[illegible]

▲朝鮮對支貿易

物品移出額	[illegible]	[illegible]
同移入額	[illegible]	[illegible]
移出入超過（入）	[illegible]	[illegible]
金銀輸出額	[illegible]	[illegible]
同輸入額	[illegible]	[illegible]

▲移出重要品

布	[illegible]	[illegible]
酒	[illegible]	[illegible]

▲移入重要品

綿糸	[illegible]	[illegible]
米及穀類	[illegible]	[illegible]
豆類	[illegible]	[illegible]
牛皮	[illegible]	[illegible]

▲對支貿易地方別

▲輸出

滿洲	[illegible]	[illegible]
北支	[illegible]	[illegible]
中支	[illegible]	[illegible]
南支	[illegible]	[illegible]
不詳	[illegible]	[illegible]

▲輸入

滿洲	[illegible]	[illegible]
北支	[illegible]	[illegible]
中支	[illegible]	[illegible]
南支	[illegible]	[illegible]
不詳	[illegible]	[illegible]
香港へ輸出	[illegible]	[illegible]
香港より輸入	[illegible]	[illegible]

◉新糖の初相場

粗糖會社は聯合協定の新糖割當處分案に基づき各社任意の値段を以て直賣向新糖を發見する事となりたる結果新分蜜糖を內地に搬入せる帝國精糖會社は現物渡し十六圓五十錢にて新分蜜テーイーエーを東西市場に賣出し十日始めて東京にて二千擔名古屋にて五百擔の取引出來せりこれ本島糖臺灣糖取引の嚆矢にして新糖の初相場としては未曾有の高値なり大阪にては十一日午前に新糖物五標明年三四五月限十六圓二十五錢にて約千五百擔の取引あり商長の氣配より十錢方引緩みたる有樣なれど帝國資出しの新糖現物に對し臨せんとするものなく手合未だ行はれずと（大阪）

◉露國軍用信管契約

露國軍用信管四百萬發既記今回製造に關し大阪の山副商店其他との引受交渉纏り十日大阪ホテルに於て同國より特派し來りたるソモエフ中將との間に先第一回分として百二十萬發製造上の契約締結したるを以て同商會は更に其筋と打合せの用務を帶び同夜列車にて東上したるが右は新設松田鐵工會社に於て製造すと（大阪）

◉仁川水產博出品

來年三月より同年四月二十九日迄東京上野公園に於て開催さるべき海事水產博覧會へ仁川府よりの出品は海參、乾鰒、魚肚の三點にして出品者宮崎利太郎、天本壽夫、小川梅藏の三名なり

◉仁川學校組合會

仁川學校組合にては來る十六日頃組合會議を開會し豫算追加一時借入金其他二三件を附議すべし

◉永山鐵線調査終了

咸鏡南道咸興より咸鏡北道永山鎭へ至る間の線路調査の爲め去る九月より地方へ出張中なりし鐵道局板倉技手氏一行は其豫定を終り十日歸來せり

◉實業會評議員會

京城實業會は十三日午後二時半より京城會議所樓上に第一回の評議員會開き釘本幹事長以下三十數名出席し席上各評議員に對し評議員推薦狀を授與し次で實業會今後の方針と既定の實行方法に就て協議し釘本幹事長よりは先般總督府商工課に於て打合せたる顛末を逐一報告し一同之れを承認し更に掛賣代金回收勵行の件に就ての組合の存立を保つことに確定し三時半散會したり

◉協贊會慰勞宴

京城協贊會にては共進會開會中種々盡力されたる各方面の主なる人々に對し感謝慰勞の意味にて十三日午後六時より花月に慰勞宴を催したり

◉京城茶話會忘年會

京城茶話會にては十三日午後五時半より京城ホテルに於て忘年會を開催し會員諸君の五分間演說其他種々の餘興談話意見交換小松綠氏の講話等あり

◉鳥居囑託講演會

總督府囑託東大教授鳥居龍藏氏は多日忠淸南北、江原道の舊時の人類に關し調査中の處去る八日入京十一日午後一時より同地方調査に關して三時間に亘る講演を總督府に開き採集し來れる多數の石器を陳列して參考に供したり

◉李埈公歸京

御大典參列後東京に滯在中なりし李埈公殿下は十二日午後十一時南大門驛着列車にて歸京されたる停車場には李王、李太王兩殿下御名代、山縣政務總監代理達藤秘書官、朝鮮貴族及李王職員其他多數內鮮人官民の出迎ありたり

◉國分長官歸任期

司法官會議列席の爲め滯京中なる國分司法部長官は二十日頃迄に歸任す可し

◉池田長官歸任期

御大典參列後滯京中なる池田遞信局長官は遲くも本月下旬には歸任す可しと

◉川村中將歸任

東上中なりし川村第九師團長は海實軍高級副官を隨へ十二日午後九時龍山驛列車にて歸任したり

◉島中將出發

十二日夜入京せる朝鮮ホテルに滯在中の旅順要港部司令官川島海軍中將は十三日午前九時南大門發列車にて大連へ向へり

◉島原副支配人榮轉

第一銀行京城支店副支配人島原鐵三氏は今回同行橫濱支店長に榮轉し來年一月五六日頃當地發赴任の筈なるが知己友人申合せ來る十九日午後六時より花月に於て送別會を催すべしと希望者は同日前花月へ申込まれたしと

◉鮮銀券發行高

五日より十一日に至る一週間の鮮銀行券發行高は三千二百六十四萬五千二百廿四圓にして內正貨準備發行高千四百二萬一千三百九十七圓保證準備發行高二千百六十二萬千八百廿三圓なり

人事消息

▲板倉技手一行（鐵道局勤）九月咸興、永山鎭間線路調査の爲め同地に出張中の處十日歸任

▲齋藤音作（營林廠長）事務打合の爲め入京中なりし同氏は十三日朝九時十分南大門發列車にて歸任の途に就けり

南言北語

▲上海の革命黨もワッと出たがスーッと引っ込んで斥まざいました幽靈と云ふ格だナア二彼れは一局部の擾亂に過ぎないが▲其れはチト速斷すぎると言子の手許に舞ひ込んだ消息通の手紙によると革命黨員ぢやないが大仕掛けも愈念ながら一敗地に塗れた譯だ▲實は陳其美を總指揮官として世上では四十萬圓と噂せられて居るが實際の軍資金は四百萬圓あつた▲其れで先づ上海でやると同時に江蘇、安徽、浙江、河南の各省と廣東方面に亘つて一時に蹶起する事の內約が出來て居たが各省之れに應ずる賦もない中に散々に敗北▲イヤ其の準備が實際完全に出來て居なかつた上海軍が焦心り過ぎたので此の敗北をした▲がよしや上海騷動は此の樣であつても此の革命黨の機會を捉ふるに違ひない心の騷動の機會を捉ふるに違ひない斷に此の大計畫に對し苦心の末張斷を說き付けて中立的態度を取る事に話を纏めたげな▲最一つ面白い處を申さう、之れも言子の手許に飛び込んだ其消息通からの一片質は取つて置きの種だと斯うもつたいを付けて置いて▲先日奉天顧問の後に王と云ふ軍人が婦人を伴つて泊つた▲驗の根みから連長包と云ふ密偵長が帝政反對の亂黨だと强ゐて投獄した▲處が王は今を時めく督軍張作霖中將に於て馴えた出陸い男だつたから早速情を訴へた▲張中將大に立腹して王を引き出して愈々極刑に處する事となると▲之れを聞いて走せ付けた王の爲めには特別關係ある上長官で五十三旅團長湯玉麟少將と云ふて滿洲第一の腕前張中將へ更らに輪をかけた豪傑▲直に王の命乞ひをしたが大抵の事なら頭を縱に振る張中將も今度許りはウンと云はぬ▲湯少將も負けては居らず一隊兵を彼の同敬馬賊の頭領子に追はれて九死に一生の際紅羅山の山塞から拙者が走せ下りて危ない處を救つた上に頂賊を斬つた當時を思つて包の命は助けて貰ひたいと迫つたが張中將は聽かない▲湯少將は其れならよし『部下の密偵は只今から一人も服務させぬ』と云ひ放ち席を蹴つて去つた▲サア困つたのは段上將軍密偵がなくなつては暗殺團が何時來るかも分らぬ▲蜚語流言は日に盛になる段上將軍は氣が氣でない仕方なしにヤツと仲裁はしたもの丶▲以來綠林に交を結んだ無双の兩傑は忽ち大猿の間柄となつた滿蒙益々多事の今日ハラ〳〵思つて居るのは段上將軍一人でもあるまい

內容完美・意匠清新・暦書對照・紙質秀絕・價格極廉・注文殺到

博文館大正五年日記類

當用日記
・洋裝美本・紙數五百四十頁・活版色刷
大形 上製 正價五十五錢
中形 總革製 正價八十錢
中形 背革製 正價五十錢
中形 上製 正價三十八錢
中長形 上製 正價三十五錢
小形 上製 正價三十錢

懷中日記
・洋裝美本・體裁典雅・携帶至便
上製…… 正價拾八錢
並製…… 正價拾貳錢
細長形 上製 正價拾錢
細小形 上製 正價拾五錢

ポケット日記
ABC號は記載欄豐富にして携帶至便且つ机上の筆記用に適し體裁高尚內容最も充實せり。
DEF號は形態小さくポケツトにチヨツキに携帶至便 G號は細長形にして濟薪受すべし。
・總革・裝幀優美・三方金緣美本各函入
A號 原形 正價五十五錢
B號 彌形 正價四十五錢
C號 趣巻 正價六十五錢
・長斯形・總革・三方金緣美本各函入
D號 小形 正價二十五錢
E號 小形 正價三十五錢
F號 紫中形 正價二十五錢
G號 細長形 正價二十八錢

家庭日記
中判上製・全紙百頁 家庭日常必須の良書
正價三十八錢

家計出納記入帳
二種共中判上製 甲種乙種
各二十二錢

英文當用日記
中形總クロース
正價五十錢

英文懷中日記
長形總革三方金緣
正價三十五錢

東京市本町 博文館 振替東京二百四十番
取次全國書籍雜誌店及文房具店

文學博士芳賀矢一先生 杉谷代水先生 合著

超越せる自習書として天下獨步の名を擅にす
第十八版 書翰文講話及文範
菊判頒美本上下二冊 紙數一千二百六十頁 特價貳圓四十錢（正價二圓八十錢）郵稅內地廿錢鮮支五十錢

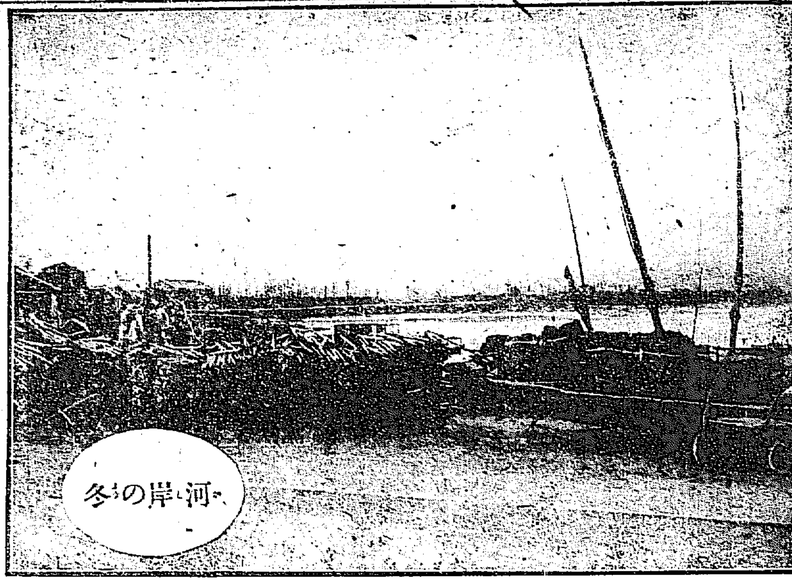
手紙の巧拙文章の優劣は直ちに社會業務の上に影響して一生の損益にも關はる。本書は此大切な人間の要具につき著者兩先生が獨特の妙技を揮はれ實用を主とし雅俗を問はず硬軟を論せず如何なる手紙如何なる文章でも自由自在に草し得べき細大の方法を衍めて懇切に說明され一度通讀した斗りでも古今內外の代表的模範文を最も豐富に完全に敷陳評釋してある。上達して手紙といふ手紙文章といふ文章が面白い樣に書けて來る。

特價期 第十七版 作文講話及文範
手紙と文章との巧拙は一生の運命を支配す
菊判頒美本上下二冊 紙數一千三百十頁 特價貳圓六十錢（正價三圓）稅同前 見本進呈（一往復葉書申込次第）
東京神田 富山房 振替五〇一

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
再版 改訂增補
朝鮮不動產登記 朝鮮商業登記 申請書式並心得
▲紙數四百八十頁 代價金壹圓 郵稅金拾錢
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

青島市街の警戒
大規模の砲臺爆破演習開始さる

十二日より開始されたる青島砲臺火砲試驗射擊及び堡壘砲臺構築物の爆破試驗に關し危險區域として一般人の立入るを禁せられたる場所は十二日より十七日迄は會姓岬砲臺を標的とするが故に衙門砲臺即ち防備隊司令官舍前より海濱の丘に沿うて海岸ホテルに至るそれより競馬場横の道路を經て旭公園入口に出で旭兵營より東南に向つて海岸に達する間の線內にしてこゝには全然立入を禁じ同時に會姓岬より一海里半の海上には各船舶の航行を禁ぜられ十九日より二十一日に至る間は旭山砲臺を標的とする爲め海岸ホテルより北に萬年兵營に至り麥酒會社横より臺東鎭市街の南方に出て西吳家村より浮山に達する線內を危險區域と定め二十二日より廿九日迄は目標を小港山北堡壘として旭岬より旭山の中心を經て林務署前を直線に臺東鎭市街地の後に出で更に東吳家村より浮山に至る線內に立入るを禁じたるが最後に三十日三十一日の兩日は小港山砲臺を中心に前同樣の區域を立入禁止區域と定めたり試驗時間は午前八時より午後二時に至る間なれば該時刻以外に於ては平常通り何等の危險なきもそれ迄は各要所要所に騎馬の警戒兵を配置し絶えず通行人の取締に當るべく十二日より十七日にかけて行はるゝ射擊は會姓岬を目標とし旅順町より海水浴場附近一帶に最も危險也と(青島)


冬の河岸

宜しく大に覺醒せよ
青山原頭の壯觀=東京灣上の偉容
我が武揚る=川村將軍の談

第九師團長川村中將は十一日午前連絡船新羅丸にて釜山上陸同時三十分龍山に向け出發す釜山鐵道ホテルに於て往訪の記者に語つて曰く

私は御即位式參列を終つて東上觀兵式觀艦式に參列陪觀いたして參つた今回の御即位大禮が一箇月餘に渉つて東京御發輦の後各種の御儀、それから東京御還御の後も觀兵式觀艦式東京市奉祝會への御行幸御祝宴に至るまで何に一つ滯る事なく恙なく曠古の御盛儀を御終了あらせられたのは誠に天祖御歷代の御佑助といと高き御稜威の然らしむる所と仰ぎ奉り聖上陛下が天の時に適なふの盛德と人の和を得たまふ御仁德とを備へ在します事を實際に天下億兆に御示現あらせられた事であつて誠に國運隆盛の兆として嬉しさに堪へられぬ次第である御大禮

▲大觀兵式 は實に空前の盛觀で且つ整然たるものであつて是れまで多くの觀兵式が行はれ予も亦何回となく參加したこともあるが今回の大觀兵式の如く雄々しい觀兵式は始めてである各兵種各隊の行動分列式の操兵等實に一點の批難の打ち所もない程に立派に行はれ實に此の勢力を以て當らば天下何者も怖るべき無しといふ感じが滾々と起つて來たのである

▲大艦觀式 にも參列陪觀の榮を蒙り各艦の紀律の肅然たるに訓練の行き屆きたるとは實に壯絶快絶の觀があつたこれほど紀律の嚴肅なる海軍は世界の何れの國に於ても恐らく見る事は能きまいと思はれた、ぜめてあれが百萬噸位あればこと思つた大觀兵式大艦觀式の偉觀は申迄もないが今回新に

▲在鄕軍人會 に對し大元帥陛下より優渥なる勅語を下し賜はり三日九段偕行社相撲場に於て拜戴式を行ひ伏見總裁宮殿下より有難き御令旨あり式に列せる全國在鄕軍人代表者會旗を擁して整列せる樣を見ても實に茲に絶大なる國家の勢力のある事を思ひ會心の笑みの禁じ難きものが有つた前にも述べた通り實に我國は今や國運隆盛の兆を得て居る聖上陛下は上天祖御歷聖の御神佑を保有せられて居る我國民たる者宜しく大いに覺醒し國運の進展を企圖するの心懸が無くては叶はぬ事である

機關車脫離逸走す
京釜線貨客混合列車衝突詳報

十二日午前京釜線密陽三浪津間にて列車衝突脫線の事既報の如くなるが更らに詳報を聞くに十二日夜半零時五十五分大田發第八列車(釜山行貨客混合列車)が定刻より少しく遲延して密陽驛を發し三浪津へ向ふ途中即ち釜山起點三十三哩二十三鎖の地點に達したる午前九時十五分頃か機關車に動搖を來せしと思ふ間もなく機關車と第一貨車とのカップリング脫離し急遽機關車の進走したるより機關士は手早く制動機を調節したるも折からの下向傾斜なる上端味を喰ひたる勢ひにて仲々急の如くならず其れを漸く逆行せしめ得し處へ上より脫離せられし列車が牽引せられ居る附力にて下向傾斜を追行し來りしものと衝突したるより機關車にも多少の破損を來し前結貨車四輛破損內三輛は脫線したる爲め一時線路を閉塞したるも急報に接し草梁驛より救援列車急行し線路復舊に努めたるより約四時間の後午後一時四十分復舊し恰も其時間內に運轉すべき列車なかりし爲め他に故障を波及せしめず開通する事となれり尚右衝突の際旅客日鮮人各一名(姓氏年齡不明)輕症を負ひたるも三浪津に連れ行き草梁より急行したる鐵道醫

海上悲劇
親子三人溺死 雲海丸の沈沒

鎭南浦中村組にては去る六日大同江嵐島附近に帆船の難破し居るを聞き直ちに乘組員七八名は救助準備を整へランチ南浦丸に搭乘し遭難地點に急行せしも折柄の强風にて波浪高く到底航海自由ならず遺憾ながら空しく途中に避難し風浪の沈靜を待つて翌七日夕方出航直ちに搜索を開始したるに猪島西方約一哩沖合に水面より二三尺上に帆掛を現はし沈沒し居る船あるを發見し波を破つて直ちに近寄り取調べ見るに如何に先頃三和町富田商會鎭山より久原精煉所に送るべき石灰石卅噸を積込み出帆したる原籍山口縣吉敷郡秋穗村藤山與吉(三六)妻なか(三十)長女きたへ(二)及黃海道銀津郡南面平陽里東允鎭(三六)の四名乘組の中村組所有船第七十四號雲海丸と判明したるも潮通下三尋餘の海底に沈み到底尋常の作業にて引揚げの見込みなきよりせめて四名の死體なりとも發見せんものと附近を隈なく搜索したるも見當らず多分船體と共に海底深く沈み居るもの、如く搜索船は空しく一應歸航し目下潛水夫を雇入れ屍體搜索中なりと(鎭南浦通信)

▲損害一千餘圓 右につき中村組員の語る所を聞くに船頭が航行中船を沈める如き事は滅多にある事でない又甑山等は極めて熟練せる船夫ですが恰度俄に風が起つて海上の慘事を出來したものらしいこんな慘事が起つても南浦や黃海道には潛水夫と云ふものがゐないから困ります、でも幸ひに南浦沖へ鮑採りの潛水夫が居りましたから夫れを雇入れて目下屍體搜索中です、損害は船荷約五十圓船體が一千圓餘りでせう云々

盲啞學校生徒
掏摸となる
七十三圓入蝦蟇口

仁川署の刑事が去る十一日午前九時頃犯罪搜査の爲め海岸町斗拔場を通行の際附近の鮮人酒幕に立ち居る十四五歲位の鮮童が蝦蟇口より五圓札十數枚を取出し支拂を爲しゐるを認め不審者として同行取調ぶるに全くの啞者なるより手似などにて漸く訊取りしたる事實判明したれば被害者に付き取調べたる處去る十日午後三時頃海岸斗拔場に於て檢疫長官の檢米視察の際立會ひたる仲買仁川濱町梅口定次が懷中の衣囊に入れ居りたる現金七十三圓入蝦蟇口を掏取られたる事實あるも被害者の申告なかりしにより猶も種々取調べたるに蝦蟇口は花町埋立地の松葉の內に捨て現金十餘圓は買物に消費したる事判明したるが此啞者は昨年九月平壤南山峴盲啞學校在學中進走して仁川に來り取調べられ當時院長に引渡されし事ある鎭南浦生れの金鎭浦(一七)と判りたれば十三日檢事局に送らる

高利貸債權者
大會を開く
對手は戀に捉れし海軍造兵中監

舞鶴海軍工廠造船部鑄造工場の主任たる海軍造船中監從六位勳四等功四級永井壯吉(三五)は原籍東京市下谷區櫻井町にて立派な兄弟七人あり壯吉は明治三十三年工科大學出身の秀才にて鑄造術にかけては斯界有數の人物なるが大正元年五月舞鶴に赴任先つ一兩月前夫人とよ子を失ひ長女たき子(二)二女とよ子(八つ)と女中まち(三)を伴ひ舞鶴に引移りしがまちは其後隱然主婦の如く立振舞ひ昨年夏頃には妊娠せりとの風說もありしが其後まもなく出產したる事實もなくそれやこれやの爲め家庭に面白からぬ事情の生ぜしものか永井氏は屬々花柳界に耽溺し舞鶴龍宮新地金華樓の藝妓福太郎事京都府綴喜郡草內村松村喜多雄長女菊枝(三)を六百圓にて落籍し鎭守府東門前の前田方の二階に圍ひゐたるが去月中旬壯吉は突然病氣缺勤をなし東京の自邸に歸ると共に間もなく福太郎も姿を隱せしより落籍金を用立てたる新舞鶴金貸業島田鶴之助其他高利貸は俄かに債權者會を開くなど大騷ぎの最中に壯吉は殘し置きたる兒女並に女中を電報にて呼戾し一方東京市麴町新紀元社の社長田中安之助及び辯護士松永信氏を舞鶴に出張させ債權者を集めて減額の示談中なりと(大阪支局報)

三度恩賜の光榮に浴す
未來の大提督

十二日海軍大學校第十三期卒業式の際畏くも聖上陛下臨御の上恩賜の賞品を拜受せる甲種學生海軍少佐勳五等功五級滿部洋六氏(三)は大分市滿部竹太郎の長男にて大分中學校を經て海軍兵學校に入り每學期とも

▲成績優等章 及び品行善良賞を受け殊に明治三十四年卒業の際恩賜の光榮に浴し少尉候補生として比叡に乘組み累進して大尉となり三十九年海軍砲術學校練習所卒業に際して又も成績優秀にして恩賜の銀時計を拜受したるが四十一年不幸病の爲め故山に歸臥すること三年病痾全く癒ゆると共に四十四年復職して大正元年少佐に進級同二年選拔されて海軍大學甲種學生となり

▲爾來每學期 優等の成績を得今回優等學生中の首位を占め恩賜品を拜受するの榮譽を擔ふに至り其性豁達にして前途有望の壯年將校なりと

廉すくなった
六百六號

歐洲の大亂開始されてより以來六百六號の製造元なる獨逸より同藥の輸入は絶え昨今は遂に一回の注射料金二十餘圓の高額に達し同病患者にて貧困者は非常の困難に出遭ひつゝありしが滿鐵會社にては今回多數の同藥を手に入れ得たるより從來の半額にて注射の需めに應ずる筈也と(大連)

道參事の妻賭博

平安南道々參事として朝鮮人間に多少名望ある金義庚氏の妻金氏は由來素行善しからず屢々賭博をなし居る形跡あるも今日迄其筋の目をくゞり居りしが九日午後一時頃府內上流婦人三名と共に車座となり鷄里七康元國方にて花札を用ゐ切りに勝負に熱中し居る所に豫ねて注意中なる平壤警察署の偵吏に踏み込まれ一同本署に連行の上取調べを受けしが其筋にては賭博常習の疑ひあるものとして十一日即決各科料五圓を申附けたり(平壤支局)

龍山十日會發展

龍山官民聯合にて組織せる十日會は數年前より每月十日に開會し每回數十名の來會者ありて極めて圓滿にして無邪氣なりしが本年に入り暫らく中絶し居り去十日忘年會を催き席上來會の新年宴會及び將來每月開催するやに就き協議したる所十名の來會者は滿場一致を以て新年會は盛大に擧行し尚將來は會員組織となし會費よりは出席の有無に係はらず會費一圓宛を徵收することに決したり、因に新年會幹事には矢野、須藤の兩常任幹事の外に古海軍參謀長外二名を加ふる事にしたる由

△峴底洞、 檢室 貞次

峴底洞と云ふのみでは御存じなからうが、北は仁王山の翠緑を背負ひ其の麓の山の裾野を相當まつた處を切り離した區劃から南は獨立門迄の一小村と說明すれば合點される筈だ。狹い處で戶數約廿戶、人口が千五百許りとは、うその樣な事實で御座る。來て見さつしやれ、先づ京城からの入口には取付に

□名物の獨立門が御座る□

二十年計り以前、日本と支那と喧嘩して生んだ物だそうで、朝鮮が支那から分家して一本立と成つたのも日本が武威を世界に示したのも此の時で、獨立門は三國盛衰の分岐點ぢやと隣の叔父さんは云わしやつた。そこで吾々は愛する村の肩を持さして振りまわすので御座る。門內に入つて見さつしやれ、朝鮮には珍らしい築で、峴底洞の四分の一は桑畑で御座る。門の西側は京城恩賜授產場の紡績工場で、設備は朝鮮一の大きな蒸汽機關や紡績機械があつて、五六十人の朝鮮婦人が蠶のまゆから熱心に糸を取つて居さつしやる。

□隣に行くと山羊牧場で□

經營者は鈴木朝君、明大出身で朝鮮に於ける唯一の山羊牧場で瑞西國の產ザーネン種な飼養して其の乳な京城市中に供給して居ると御自慢で御座る。吾々も朝鮮唯一の山羊牧場の我村にあるのは自慢で御座る。山羊牧場のお向ひが京城監獄所で、居殺數の多い事と設備の大きい事は京城一で、京城一であれば朝鮮一、經營者は吉田と云ふお髭のある猛者で御座る。其のお隣が獨立門監獄署、赤い着物に番號つき鎖の帶をお引ずつた人が劍を吊り下げた監守さんの指揮で、朝は早くから

□いやもう勉強な事で□

今は勤勉な働き振りで、朝から晩迄煙草一服吸はつしやる見る事が御座らぬ。監獄署の裏手に御水も御座る。夏は水筒を下げた水波で山は眞白になる程の人出で、時々美しい妓生もお見受け申す。今に寒くなると北の方の切通しから寒い風が流れ込んで、京城人士を震憾させるで御座らう、此の風な鮮人は獨立門風と云つて、それはくひどい恐わがり方で御座る。聞いて極樂、來て見て地獄

□住んで心地のよい處□

こは我々の住む峴底洞の事で、金滿家の旦那方來て見さつしやれ、ゑへ。御趣意も御座いますよ

▲浪花館 京山若燕、吉田若春一行の浪花節にて開演中

▲御成座 十四日ゆ替りは郭の花八陽、八重

佛教五十六派の聲決

の一問題たらしむる事に意見の一致を見たり其決議事項如左(大阪支局)

二、宗派內に宣布せる各宗派の教義歷史及び其實行を[illegible]し宗教に對する方針を確定し以て宗教法を制定せられん事を其筋に要請する事

龍山日本基督教會は今春來漢江通り十一番地教會新築中の所此程完成したるを以て十二日より同所に[illegible]

◉死體の漂着 仁川署管內[illegible]十日[illegible]殺の疑なく全くの溺死と判明したるを以て同事務所に引渡し假埋葬に附したり

達雲(三八)と一八と稱する賭博をなし居る處を發見され李鳳熙は笞六十達雲は笞三十に處せられたり

天氣 晴れ 十二月十四日

御年暮 御年玉用
新荷物着と年の餅勉強
東京名代田丸屋特製
一福々豆 鑵入及斤賣
一海苔小卷 同
一あげかき餅 同
例年の通り年の餅大勉強
餅專門家 本町一丁目 大和軒

完全哺育料 母乳代用品
成品質粗惡分量不良の模造品有之危險に付御註文の節は必ず犬印御指定被下度候
弘田博士五外博士實驗推薦 各醫科大學各專門校御用
犬印 滋養糖 DR. SOXHLET NAHRZUCKER
小兒ノ體質ヲ强健肥大ニシ胃腸ヲ調整シ貧血虛弱ヲ回復ス
諸大家實驗報告書一御申越次第進呈
發賣元 東京神田 和光堂 電話本局一六八四番・振替東京一四九五九番
□各地藥店及食料品店取次販賣□

三和高麗燒は宮內省御用の光榮に浴したり
香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々
三和高麗燒 朝鮮特產海老の精
海老の精は風味佳良。滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土產として絶好の珍品に御座候
三和高麗燒元 海老の精發賣元 朝鮮鎭南浦 富田商會
特約店 京城 龜屋 同 津村商會 仁川 [illegible]川商店 平壤 龜屋支店 大邱 龜屋支店 淸津 市木商店 江景 岡商店

攝津灘 大塚釀造所吟製
發賣元 京城本町四丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

仁川本町三丁目 朝鮮商業銀行仁川支店 電話八四・九番 振替京城一〇六二番

仁川本町一丁目 朝鮮銀行仁川支店 電話一一二番・三一二番 振替貯金京城三三四〇番

仁川本町二丁目 十八銀行仁川支店 電話八一・九一八番 振替京城二六七六番

仁川本町二丁目 百三十銀行仁川支店 電話五八・一〇二番 振替貯金京城五五番

●帝政と滿洲
必しも樂觀を許さず

支那政府は五國の帝政延期勸告を無視し上海に革命亂勃發したるも忽ち鎭定したる爲め亂徒兇く何事をか爲さんやとの意氣込にて却つて益々帝政實行の準備を急ぎつゝあるが滿洲においては奉天の段將軍主となりて盛んに帝政の必要及び効能を鼓吹し且袁世凱氏を呼ぶに既に聖上若くば皇帝の名を以てし此程は又中央政府に向け帝政實行は一日も忽にすべからず亂徒事を企て大事に至らざるに先だち事を進んで速に帝政を施き袁大總統を九五の尊位に即かしむる必要あり滿洲には斷じて亂階を作らしめず此點配慮を要せずと告げ萬一の變に對する防備警戒を嚴にしつゝあり既報の如く滿洲には革命黨員の潜入先づ之なしと見て可なるも支那官憲は大連又は營口より昨今革命黨潜入し馬賊又は宗社黨員と氣脈を通じ南方の同士と呼應し事を擧げんと企てつゝありと稱し我が滿鐵附屬地內は勿論關東州管內にまでも行商其の他に變裝したる密偵を派し鵜の眼鷹の眼にて物色に努め居る樣却つて滑稽に感せらるゝ程なり若夫れ帝政に對する滿洲支那人の感想如何といへば例のどうでも好しと云ふ調子にて餘り賛成もせざる代りに餘り反對もせざる有樣なれど帝政實行と共に賦課の增加せんことは彼等の最も恐れ且忌む所にして現に諸稅の租稅漸次その率を增加し商民並に農民の負擔額益々重きを加へ來れる傾向あるに見て帝政後は一層甚だしかるべしと考へ此點より帝政に謳歌せざる者も尠からず或る一部には檻に不平の聲高まり居れば支那官憲の樂觀するが如く必ずしも安心は出來難かるべし（大連）

●大豆禁輸調査

英國政府より我が政府への要求に係る滿洲特產大豆及び豆油の歐洲中立國輸出禁止に就ては既報の如く大連商業會議所より之れに應ずる時は滿洲の產業、工業及び貿易の上に大打擊を與ふる理由を具し要求拒絕の旨請願せるが右の內大豆のみならば多少の輸出制限を受くるも差支なきが如く記しありされど大豆と雖も其額多大ならざるにもせよ之が歐洲向輸出を禁止せらるゝ時は滿洲特產の上に影響し延いて貿易及び一般經濟界に尠からざる不況を來たし滿鐵の運貨收入にも惡影響を及ぼすこと明白なるものあり殊に露領浦鹽港が歐洲戰の結果輸出不能となり北滿大豆が前年同樣滿鐵線に依りて南下し大連港を經て海外に仕向けらるゝ今日英國政府の要求に應じ滿洲大豆の大連輸出を禁止するに至らば各方面に種々の不結果を來たすべきこと歴然たるを以て滿鐵會社にても之れに關し精密に調査中なるが追て具體案を作り何分の建議に及ぶべし（大連）

●龍山教會新築落成

（の祝會は宮田幹事の…）信仰の價値なりと

●尙州金鑛近況

▲洛東金鑛　今や漸く金鑛經營が機械的事業ならずして大資本を要する國產的事業なる事周知さるゝに從ひ自然淘汰の結果基礎の危きものは閉鎖し見込のあるもののみ殘留する事となりたるが洛東金鑛の如きは殘留せるものゝ一にして場所は善山郡洛東村の西方約二十町の地に在りて目下中野氏事務主任となり更に一刷新を加ふ可く已に準備整ひたれば不日具體的擴張の運びに至る可し含金質良好因みに此附近鮮人の亂掘の爲鑛脈を傷くる事尠からし

▲長川砂金　長川砂金採集所は善山郡洛東より尙州に向うて約二里の地點新村にあり元金泉の渡邊榮太郎氏經營にかゝる砂金採集所の附近にて目下數百人採集に從事しつゝあり經營者は長谷川、渡邊兩氏にして近郷一の採集場ありと

▲直營金鑛　新村の西方にある總督府直營金鑛は既に著々準備成り二十有餘哩に亙る鑛區は何れも採鑛を進めつゝあり來年度より試製錬を開始すべき筈なれば附近金鑛界の橫綱たる可きを期待さる

▲稻荷鑛山　尙州より咸昌街道に沿ひ約一里二十町の山麓にあり鑛脈整然として頗る有望なり酒匂虎之助氏技師として諸般の經營を擔任目下三十餘臺のスタンプを据付け精化製錬所をも築造中にして水利の便よく殊に未だ他所に多く使用せざるライスター淘汰盤を使用せる爲め特長なる好成績を呈しつゝあり來年解氷期に至らば更に大規模の擴張をなすべしと

▲朝日鑛山　同山は稻荷鑛山の姉妹山とも云ふ可きものにして鑛脈の連絡する所少なからず聊か樋脈の連續は稻荷鑛山に劣れりと雖もさして悲觀すべきに非ず鑛主齋藤氏が最初製錬所の選定を誤まり大に悟る所あり先月製錬所を山麓に移轉せしめたれども水量不足の憾あり今は經營難の噂あるも鑛主の奮闘により遠からず整理すべきを期待さる

●鎭南浦の荷動き

▲鐵貨到著激增　本年商況の活潑なるに伴ひ鎭南浦への到著貨物は頗る多きが今鐵道便による物貨のみを見るも十一月中八百六十九噸を算し之れを昨年の二十二噸に比すれば約四十倍の增加なり

●犢の屠殺制限か

春來牛皮の昂騰に伴れ平安南道生牛の屠殺頗る多きより當局にては畜產上由々しき問題なりとして注目しつゝあるがさりとて經濟上の原則に基づき自然に需給せらるゝ牛皮を屠殺制限等により檢束するは素より聖代の今日行はるゝ事にあらざるも唯だ畜產奬勵上の大障碍となる犢屠殺制限の如きは刻下緊急の問題なりとし道當局にて研究中なれば或は近く事實となりて現はるべきか

●籾乾燥實行難

運輸金融機關の不備なる南鮮にては米穀檢査實施以來內地よりの上格米の注文繁く是れが爲め一般米穀商は勿論地方生產者に至る迄調製に注意を加へつゝあるを以て石、砂塵、稗等の夾雜物は著しく減少したるが只乾燥に至つては種々の事情伏在して未だ完全の域に達せざるは嘆ず可きなり輙ち遐陬の地にして交通運輸の機關備はらざる地方の生產者が金融の關係上充分乾燥するの遑なくこれを賣却し債權者及び地主も亦收穫と共に乾燥の有無を問はず收納するが爲めに自然乾燥の不充分は免れず且つ地方に出張したる米穀商の如きも出盛期に際して廻著米多きが上に乾燥場の設備無き關係より乾燥不充分と認め乍らも之れを俟にして迄荷せざる可らざるを以て到底滿足なる結果を得る能はざるは止むなき事なり然して金融機關の不充實は益々此の弊を助長せしめつゝある者の如し例へば昨今の如き出盛期に於て地方生產者と現金取引をなす場合金融機關の備はらざる地方に在つては資金の運轉上常に不便を感ずるを以て敏活に仕向先との取引をなさゞる可からず其の結果格落ちを忍んでも乾燥不充分なる籾米を送荷なす向尠からざる由なれば折角調製法に於て良好なる成績を擧げつゝある米穀檢査も斯る幾多の支障に依つて理想的の結果を見る能はざるは遺憾とする所なりと

●久原精煉所の影響

朝鮮銀行平壤支店にては久原精煉所設置以來西鮮鑛業界に及ぼせる影響に付目下調査中なるが聞く所によれば同所開業後藥品暴騰並に精煉所の設備を有せざる等の理由により採掘を中止しゐたる小鑛業家にして復活せしもの頗る多く事實上西鮮各金鑛中今秋迄諸種の理由により作業中止中の者は全數の六割なりしも昨今は五割に減じ居れり

皮膚科
皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障礙
入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元日曜町）　佐藤醫院　（電話一一七三番）

●邱安工事進捗

大邱安東間三十四里の工事は已に九分以上の竣工を見全線殆んど坦々たる良道と化し少しも昔日の困難なく自動車を通じ得らる可く嘗て全線中峻坂七箇所もありしが今は十五分勾配以下のもの安東邑外一里の地點に一箇所義城邑外北方約一里半の地點に一箇所及び多富院位のものにて他は全部自轉車にて乘越さる可し殊に有名なる桃李院峻坂の如きは山麓の迂路を廻りて峻坂の影だになく心地よき限りなるが今なほ工事中の箇所は咸孝合間の一部のみにして遲くも來春まで全部完成に至る可しと

●釜山日報上棟式

釜山日報社は燒失後再建を取急ぎ中の處工事だけ大體の建築を了りたるを以て十二日午後十時上棟式を擧行官民多數を招待し盛大なる式宴を催したり

●東拓平壤管內減收

東拓平壤出張所管內に於ける本年稻作付反別は千三百五十九町にして籾收穫豫想高は六千八百二十七石に達する由なるが本年は全體に於て平年作に比し何等增減無き模樣なるも平安北道に於ける鴨綠江沿岸一帶は水害の爲めに二三割の被害は免れざる可し是れが爲めに管外の一般作に比し多少收穫を減じたるが如し

年末の贈答品には
本場　ちゞぬ銘仙　賀川向き　珍柄豐富
京城本町二丁目　ちゝぶや　電話八九〇番

●連絡船上陸客

十二日午前釜山入港高麗丸一二等客（一等八名）服部親住、平塚公、增田英信、廣瀨貼、松田隆次郎、齋藤彦太夫、河合進、李正錫（二等三十二名）中島熊三郎、中島勝次郎、村松武八、原口一二、岡部昌一、同一男、大坂友次郎、志賀かれ、杉浦三、同あい、瀨山亮藏、中村吾吉、井山伊次郎、同勘平、岡本武二郎、同雛子、飯田平次、矢上廉夫、同陽子、岡大介、矢野政次、郞、柳田傳平、鈴木谷太郎、小谷まさ、淵上男右、南門、金子捨三郎、野口乙介、高柳野安次、同俊夫、福聰こまさ、清水齊七、同たけの（三等百六十六名）

十二日午後入港弘濟丸一二等客（一等五名）丞東いか外人四人（二等三名）山口甚四郎、伊賀清五郎、大屋龍次郎

商況

東京株式特電

十一日	前場寄付	大引
日本郵船	一六五、九〇	一六七、〇〇
日韓瓦斯	……	……
滿洲製糖	一四〇、〇〇	一四〇、〇〇
同新株	一〇七、二〇	一〇七、四〇
日本麥酒	……	……
東株第一	二四七、五〇	二四六、〇〇
東株第二	……	……
東新第一	……	二二二、三〇
東新第二	……	……

債券現物特電

十一日出來値段（前日との比較）		
東拓社債	七五、〇〇	
日韓瓦斯	……	
朝鮮銀行	一五八、五〇	
朝鮮瓦斯	……	
南滿鐵道	一三五、〇〇	

公債直取引

十一日出來値段（前日との比較）		
五分特別	……	
五分甲號	……	
一回四分	八一、八〇	
二回四分	……	
甲五分	九四、六〇	

深川在米特電

十一日中一等		
朝鮮米	三四、八四	一九
朝鮮米	六三、六七	六
內地米	一六、二二、九五〇	

東京期米特電

	十一日前場	後場
寄付	一五、〇九	……
高値	一五、一四	……
安値	一五、〇四	……
止め	一五、一三	……

大阪株式特電

十一日	前場引値	後場寄付
主力株品鑄	……	……
宇治川水	[illegible]	先[illegible]
神戶電鐵	[illegible]	……
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
阪神電鐵	[illegible]	……
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

十一日前場		
十二月限	二二、八〇	二二、〇〇
一月限	二三、〇〇	二三、〇〇
二月限	二三、〇〇	二三、一〇
三月限	二四、五〇	二四、七〇
四月限	二五、二〇	二五、五〇
五月限	二六、三〇	二六、四〇

大阪期米特電

十一日前場		
十二月限	二二、八〇	二二、[illegible]〇
一月限	二三、〇〇	二三、〇〇
二月限	二三、〇〇	二三、一〇
三月限	二四、五〇	二四、七〇
四月限	二五、二〇	二五、五〇
五月限	二六、三〇	二六、四〇

下關期米特電

十三日前場		
當限寄付	一四、二三	
中限寄付	一四、四六	
先限寄付	一五、八一	
	め止	

十二日前場（佐伯商買ふ商し）

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝鮮物產特電

馬山改玄	三、[illegible]	釜山大豆	……
全州改玄	……	慶山大豆	……
釜山改玄	二、[illegible]	浦項改豆	……
木浦改玄	三、[illegible]	元山別大	……
同並改玄	三、[illegible]	端川摔背	……
群山特改	二、[illegible]	城津大豆	……
同並改玄	二、[illegible]	龍山大豆	……
仁川改玄	二、[illegible]	長淵大粒	……
南浦改玄	二、[illegible]	堺城大豆	……
釜山上白	……	仁川小粒	……
釜山中白	……	宜川大豆	……
釜山並白	……	平壤八豆	……
仁川上白	……	群山大上	……
仁川中白	……	木浦大豆	……
仁川並白	……		

雜報

●株界と人氣

正貨は無限に增加し金融は又緩慢なるに反し戰爭の前途に伴ふ警戒の觀念なる事は格別市況に…新企業勃興の機運を暫時抑制するの傾むきありしを以て既設株券に對する放資的傾向は益々旺となり遂に今日の如き株界活躍の結果を招致したる次第なるが此結果は鐵、又株券價の昂騰に伴ふ放資餘力の薄弱となりて現はれ今や

騰落の原因

相場に對する材料を除外しても或る程度迄は金の力を以て左右するに至りたるものあり左れば人氣は目前鳥渡見送りの狀態にありと雖も四圍の事情に格別の惡材料發生せざる限り更に…の活動を開始する事明々白々にして一部に依りて唱へらるゝが如き金融難に基づく目先の下押しも或は實現なしに終るやも知れず要するに人氣はドコ迄も

大勢を樂觀

しつゝあるが上に金の力は機に臨み發現せんとするの實況にあれば相場は大株の二百圓割れを期待し得べからざるべく而して前途益々發潮の觀あるもののあるべし

●片栗粉の近況

永らく悄氣滿々たる市況を繰返し居りしが昨今に至りては四圓の再滑より安値は買ひ試みんとする掛合あり北海上銘五圓九十錢方五圓五十錢迄を唱ふ而して大阪市場も沈靜にて照合を暫させざるも齊五圓七八十錢迄の安値は買氣なきにあらざる…輸出は船腹の關合弗々手當はあれば活氣なく…を持續すべし

產地 は漸次沈靜に赴きつゝあるに至り產地の出廻增加に連れ…小粉方面は地場見越し…

貨物存外拂底 外下げ渡り居れり…

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　今村覺次郎　電話長三三七、三六八　略番（イヌハイマ）

●洋紙は値上げ

聯合會は十日東京にて協議の結果原料高に應ずるため圓紙協定價格を左の如く引上ぐるに決し尙ほ外の洋紙の値上程度に付き十一日協議を擧行せし由なれば追つて發表あるべし而して値上率は▲模造紙一割五分高▲上等印刷用紙一割高同並品一割高▲ロール引二割高▲新聞用紙一割高▲色紙一割五分以上高なりといふ

●硫酸の値上

內地硫酸は近來稀有の激增を見しも需給の均衡を保たずために大日本人造肥料にては大阪大和川の硫酸工場における販賣價格一…

●錢上發表

同製品の販賣月額は二萬噸にて四百八十噸なりといふ

田中大八商店　電話長一六二、一五二八番　一定の割賣買の果可御遠慮可申候

下關相場

▲朝鮮米も弛まず一時內地米の勢と共に稍や軟化の商情にありし產地の如きは前日の期米高を受け角腰かりの情報を傳ふるに至り果其後米主の安くは手放さざるり市況弛まず之れか弗々の出來左の通りにて前報後の輸入は玄米十叺白米百六十叺等なり
▲大豆は依然氣鈍し其後永洞百十叺元山物二百叺朝州產百五山物五百叺等の輸入ありしのみず昨紙已記の如き事情の下に現氣の進まざる爲め昨今賣れ行きしからずして相變らず市況氣鈍きれが弗々の出來値は左の通りなり
▲小豆は別段變らず前報後安東寄小豆五十叺同花小豆二百叺等の入ありて兎角氣方の進まざる爲め日來賣れ行き捗々しからず市況立たず然れども其後米價の…

仁川現物市場

（十二日）
水原白米	一二二叺	金村白米一九叺
水原大豆	四九叺	長湍大豆四七叺
烏山糯	二八叺	金村白米三四叺
全羅白米	一七叺	平壤白米二六叺
成川粟	六九叺	仁川粳一〇〇叺

南大門の廻米

京城正米

期米の不勢…

各地商況

▲木浦（十一日の穀物）…

●仁川期米

▲十三日前場（大阪前寄十四錢安）…

十七錢と高移 … **大阪四節八** … **利喰買多** …

▲安人氣…

籾安と共に十錢

●市場零聞

▲前場の商戰 …

●仁川米豆取引所

十三日の二月限

前場	寄付	高値	安値	出來
一節	十圓五十六錢			
二節	十圓五十八錢			
三節	十圓五十三錢			
四節	十圓五十四錢			
五節	十圓五十五錢			

十二月限　五千石
一月限　一萬一千石
二月限　一萬七千五百石

▲前場動かず　▲目先小口投げ　▲大阪の漸落　▲不勢に陷り　▲格付發表　▲目先强弱觀　▲高値七十七錢下　▲天井と暴騰の反動　▲本月新甫　▲出穀二分一位　▲年內の割安　▲深川在米激增

演藝案內

大正館（櫻井町　電話八七三番）十二月十二日より…「地下の鐵箱」…

黃金館（黃金町四丁目　電話二六三七）…大閤秀吉と石川五右衞門…

有樂館（本町一丁目　電話二六六）…

御成座（御成町　電話一二九一）…

壽座（本町　電話五七八）日本活動寫眞株式會社專屬…「夜半の鐘」…

浪花館（明治町　電話二六〇番）…

壽館（壽町　電話一〇五〇）…

朝米　㊣橋本猪作　電話長三五二、本五一〇、二五七一、二二七

佛國五分利國防公債募集締切　來十二月十五日　詳細ハ朝鮮銀行ニ就テ見ラレタシ

小生儀年齡三十一歲と相成候に付今般京城梨峴北門外に於て雜貨商開業致候間此段廣告仕候也　屋根瀨

大正五年度日記御案內　發行所　博文館

京城本町二丁目　巖松堂京城店　電話二一〇六番

荊妻ハル儀病氣の處療養不相叶相州鎌倉に於て死去仕り候　葬儀は十二月十四日午後二時京城… 岩崎眞雄

葬具萬般整頓罷在り斯業に經驗深き者專ら業務に從事致し候　京城大和町一丁目　大和葬儀舍　電話一二四三八番

京城葬儀社　旭町二丁目　電話一五六七番　中河原重吉　井上芳太郎　電話九五七番

越後大評定

第七十二席 早川貞水口演

小栗荻田兩名の切腹

天『さて此度は御決心あつて御籠城あそばすとのこと、誠に御立派なる御覺悟にて、是れぞ德川御一門の武士道廢れざる御行ひとも申すべし、然れども今天下泰平、濫りに干戈を執つて世の中を騷がすこと、國賊の大罪たるは明かなり、左れば將軍家大軍を以て、既に福井城を攻めるとの御意あそばしたるも、即ち國守大名へ後日の手本のためで御坐る、假令御一門なりとも、天下の法に背く者は、容赦之なきは德川家の御掟なり然れども御當家は格別なれば吾々兩名御奉公終として將軍家へ御願申上特別寛大の御處置を請奉り此度上使の役目を被りたり、其御上意の儀只今申し渡す、上…意…仙『ホ、ホーッ』嚴格なる御一言のため、仙千代勝姫殿、その他老臣一同平身低頭いたしたる時に 天『此度越前家、福井城に籠城いたせしは、天下の御法に背き、重々不屆の至り、依つて改易申付べき所なれども格別の憐愍を以て、越後國頸城郡高田へ國替を申付け、仙千代に二十四萬石、別に二萬石勝姫へ化粧料として之を取らする 仙『ホホーッ』首に懸けたる頭陀袋の中より、天海樣取出したる御朱印を仙千代君に御渡しになる、此時勝姫君『さては將軍家には、妾にまで化粧料としての御心付け、千萬辱く有り難く御請致すで御坐る 天『是にて各位方は、速に當福井城は開いて然るべく』○『ハアー有り難う……』と、一同平伏したる時に、向ふの襖をサツと開きましたるは、小栗美濃守、荻田主馬介兩名、頓てそれへ出まして、平身低頭いたす、天海樣も彥左衞門殿も、 天『久々なり小栗。 美『ハ、ハッ 彥『荻田變りはなきか 主『ホ、ホー 天『彥左衞門 彥『ハッ 天『兩名の容子が些と變つて居らぬか 彥『是は御僧、切腹いたし居る容子に御坐る 天『ナニ切腹いたしたか……小栗、荻田の兩名は切腹いたしたか 美『ハツ、ハーツ、此度吾々福井に籠城いたしましたるは決して我主君樣の御心より出でたる儀にあらず全く美濃、主馬の兩人より御勸め申上げたる次第、之がため近國を騷がし將軍家へ御敵對の大罪を犯したるにも拘らず、只今御國換、御恩祿を下し置かれたる以上吾々切腹いたして御詫仕れば、何卒江戶表將軍家へ對し、宜きに御取計らひ、偏に願ひ上げ奉る』申上げる間に兩人の顏色いとど變つて來る、天海僧正、彥左衞門の御兩名同音に『天晴なるぞ小栗、荻田の兩名御一家の大罪を一身に引受け割腹なしたる誠忠、將軍家には宜しく御取做し致す、後々の事は心配なく最後を遂げよ 美『ハ、ハーッ 天『いで天海が汝等兩名の臨終に引導渡して取らするぞ』と大僧正珠數を取上げたることにて、懇に引導下し置かれましたから、二人の者は笑ひを含んで打喜び『我主君仙千代丸樣に於ても、御成人の後は、將軍家へ對し此御恩報はせ給ひ、[illegible]樣に治め給ふやうに」と云ふ[illegible]聲に細り行く斷末魔、仙千代丸樣、勝姫君左右から兩人に御縋りあつた時は、一同の老臣 みな頭を下げ、ホロリ〳〵と涙を流す。

十二月十五日九星 舊十一月九日庚辰 本命八白 良定 先勝

▲八白● 待遣數事有日 新事見合習の方は[illegible] 良 ▲九紫● 柏子好き日轉居入學金件[illegible] ▲一白● 閑ゆわけ 求職婚禮[illegible]萬吉 ▲二黑● 一寸開口する事有日 新事手控萬事は吉一切のかけ事た[illegible] ▲三碧● 迂散臭き事有日 新事手控[illegible]事は吉買物に用心せらるべし ▲四綠● 不分明[illegible] 新事手控常の事は吉貸借の口入等せぬが[illegible] ▲五黃● ねきさしの出來ぬ事有日 新事手控[illegible]事は吉交際に注意せらるべし ▲六白● [illegible] 始る師皆吉 ▲七赤● 欣然たる日 轉居開業等皆吉 入學名誉件求職嫁娶[illegible] 女子は學藝により大いに立身を爲す頗る振ふべきの日也

▲廣告▼

名譽金賞牌受領

大阪唐物町四丁目

芳香 せん水

本家 大阪市西區新町通二丁目 田知本和三郎謹製

各地薬店に販賣す 振替大阪二八一八番

本場みかん (毎日數噸宛入荷)

食料品雜貨 清酒醬油 罐詰 果實靑物 海産物一式

問屋 京城旭町一丁目 岩城馨商店 振替京城一〇〇六 電話八百四番

醇良清酒

仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

朝の薄化粧 夕の濃化粧

意氣にも上品にも凡ての場合に無限の化粧美を發揮する

レート白粉

宮內省御用 各宮家御用品

レート製品は最近畏くも御大典御用品として御選定の光榮に浴せり

御婦人の一番困る襟足襟首の化粧が濃淡自由自在に繪に描いた樣に美しく出來るレート白粉の大なる特長!

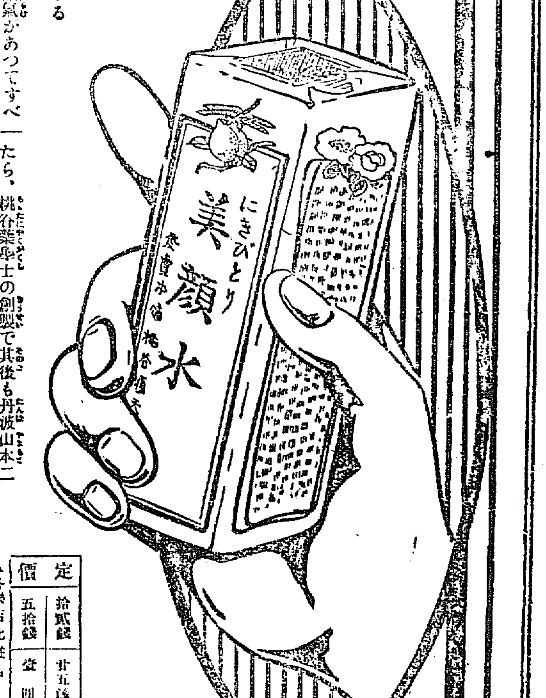
東京・大阪 平尾贊平

藥用 美顏水 ニキビとり

青年男女 皮膚の衞生

△ニキビは斯して出來る

一體人の皮膚は何うも多少共脂氣があつてすべ〳〵してゐますが、是は皮膚といふ細い管から皮脂を吹出してゐるからです。併し物は兎角一利一害で、此皮脂の吹出力が餘り多過ぎると、皮脂は皮膚の口を塞ぎ、痛痒い厭な感じを起させ、終に醜いニキビと成るのですが男女とも青春の頃は此皮脂が多い爲ニキビも亦多く、其れを捨てておくと、痤瘡即ちニキビの塊となり、如何にも見苦しく全然容貌の美を毀して終ひますから、若しニキビが生たら、桃谷藥學士の創製で其後も丹波山本二博士が顧問、桃谷藥學士始め數人の藥學士技師となつてゐる桃谷研究試驗部の研究で一層効力が加はり、今の世に是以上進んだニキビ藥は無いと言はれてゐる藥用ニキビとり美顏水を直ぐ用ひるのが一番有効な方法です。尚此藥を常用すれば、色を白くし肌理を細くし艶活々となり、素顏の美しさを增し、尚又蚤や蚊や南京虫に螫された時塗ければ痛を防ぎ、皮膚氣持よく、跡が腫物等になりません



定價 拾貳錢 廿五錢 五拾錢 壹圓

▲各藥店化粧品小間物店にあり

東京 桃谷順天館 大阪

改正2575 109

尼崎汽船 仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
- 吉丸 十二月 日後四時出帆
- 若が代丸 十二月 日後四時出帆
- 土海丸 十二月 日後四時出帆
- 神代丸 十二月 日後四時出帆
- 大有丸 十二月 日後四時出帆

○第二太湖丸 群山、大阪行 十二月 日後五時出帆

仁川海岸通 高杉回漕部

大阪商船 仁川出帆

○中國西海沿岸各港行一割引連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 (船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候)
- 溫州丸 十二月十五日
- 須磨丸 十二月十九日 午後五時出帆
- 漢城丸 十二月廿二日

×○木浦、釜山、長崎行
- 安東丸 十二月廿四日
- ▲城津丸 十二月十八日 午後二時出帆

×○鎭南浦、大連行
- 安東丸 十二月二十日
- 城津丸 十二月 午後二時出帆

×◎鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 潭州丸 十二月 日正午出
×◎門司大阪行 潭州丸 十二月 正午出

○群山、釜山、檳濱行
- 千珠丸 十二月二十日
- △チヨイサン丸 十二月卅日 午後四時出帆

○大連直行
- 千珠丸 十二月十四日
- △チヨイサン丸 十二月廿三日 正午出帆

○淸津、浦潮行(元山出帆)
- 地久丸 十二月十八日
- 宮丸 十二月廿八日 午後三時出帆
- ▲大智丸 十二月十六日

○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
- 湖北丸 十二月廿九日
- 新商丸 十二月十七日 午前十時出帆

御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯帶運輸
○御乘船客は本船出帆約一時間前迄に御買求め被下度候
○×印は一等客御斷り △印は貨客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番 二一〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

共同汽船 仁川出帆

阿波國共同汽船會社汽船

第一共同丸 芝罘、大連行 十二月十七日後二時入 十二月十九日前九時出
(朝鮮總督府命令航路) 朝鮮沿岸各港に寄港し大連にて靑島行定期船に接續

第一阪鶴丸 城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 十二月 日後九時出港

第三共同丸 (元山出帆) 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十二月二十日前八時 十二月 日出帆

阿波國共同汽船株式會社
- 仁川代理店 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
- 元山代理店 岸日町(電話二四四七番) 田口回漕部
- 京城取次店 南大門(電話二一六八、二〇一七) 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

- ○門司、神戶、大阪行 立神丸 十二月廿一日後六時出帆
- ○元山城津浦鹽行 立神丸 十二月 日後十時出帆
- ○門司、神戶、大阪行 小倉丸 十二月十四日後五時出
- ○元山、淸津、浦鹽行 小倉丸 十二月廿三日後十時出
- ○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 十二月廿一日後九時出
- ○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 十二月十二日後六時出
- ○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天興丸 毎月二日九日十六日廿三日 廿一日廿六日 午後十時

釜山港立町 本船取扱店 大池回漕店

朝鮮郵船 仁川出帆

(平安丸・全州丸・南陽丸・麗水丸・晋州丸 ほか)

- 平安丸 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 門司、二木浦、群山行 十二月十九日 群山發 十二月六日 若松發
- 全州丸・南陽丸 江華島、桐西島、海州行 毎日午前 仁川發
- 麗水丸・晋州丸 各港經由木浦行 十二月十六日・十二月廿一日 仁川發
- 江原丸 芝罘、大連、青島行 十二月十六日 仁川發
- 宗信丸 海州經由各港經由、鎭南浦行 十二月十七日 仁川發
- 公州丸 各港經由濟州島行(月一回) 十二月十二日 木浦發
- 公州丸 南多島海列島行(月三回) 十二月十二日 木浦發
- 慶興丸 各港經由濟州島行(月四回) 十二月十六日 木浦發
- 順天丸 各港經由麗水行、麗水より釜山行に連絡 三日目毎 木浦發
- 海州丸・統營丸・巨濟丸・慶寶丸 各港經由麗水行(三日目一回木浦行) 毎日 釜山發
- 三浦丸 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行 十二月十六日 釜山發
- 江陵丸・襄陽丸 長生浦、方魚津寄港 毎日 (釜山浦項)發
- 嘉島丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 十二月十八日 釜山發
- 永興丸 北久味、五里浦行 毎月廿八回 元山發
- 平壤丸・忠淸丸 又は長崎延長 城津、淸津、浦鹽行復航釜山門司間 十二月 日・十二月廿二日 元山發
- 鏡城丸・咸平丸・鏡城丸 元山より各港經由雄基行 十二月十九日・十二月 日・十二月十五日 元山發
- 全羅丸・京畿丸・黃海丸・咸鏡丸 神戶より釜山各港寄港鎭南浦迄 十二月十四日・十二月廿四日・十二月廿八日・十二月十八日 釜山發

京城南大門通 本社 京城南大門前 京城代理店 松原運送店

日本郵船 仁川出帆

- ○大連、秦皇島行 相模丸 十二月廿七日 正午出帆
- 高砂丸 十二月十八日 正午出帆
- ○大連、秦皇島行 三河丸 十二月 日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）（年中無休刊）

京城日報

十四日朝刊（第二千九百七十二號）

第三版

定價　一部金三錢五厘一ヶ月金拾錢郵税共一ヶ月金拾五錢郵送に限り三圓七拾錢▲郵券代用一割増

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲所指定一行金壹圓八拾錢▲三號活字の一行は二號活字の一行は五號活字同樣

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　卷口政太郎
太平通一丁目
發行所　合資會社　京城日報社
電話　編輯局三四五番　營業局二二六番
振替貯金口座京城三〇〇番

大阪三品　[illegible]

東京期米特電　▲十三日前場　寄付　一五〇三　二月限　高値　一五一〇

大阪期米特電（十三日）　後場高限寄付十四圓十六錢△中限寄付十四圓[illegible]

▲後場の商戰　[illegible]二百石賣二百石買今二千九百石賣　[illegible]と押したるも大阪堂島より六十五錢と跳ね返し三錢と脫會したり市況は前場下げ溢りの反動なるが後場は大阪の引返しを入れたるも賣物多く伸び悩み如何にも頑迷き商況を示したり扨も今後如何なる變動を顯出するなる乎

▲後場中限　[illegible]

放浪漫記

大谷光瑞

（承前）一日午後十一時半濟南を發し泰安に向ふ。途上汽關車に故障ありし爲め、殆んど午前二時に近く、泰安に到著致候、直ちに支那客棧に投宿し、纔かに褥を展ずるを待ち、半臥熟眠、翠朝眼覺むれば日既に三竿を過ぎ、五六竿に及び、漸く前日の疲勞を醫し申候、此地より轎子に乘じ泰山に登覽致候、泰山は御承知の如く、支那上古より稱せらるゝ名山にして、五嶽の第一となせるが如し。山は最高頂一千五百五十米突にして、決して高山と稱すべからず。本邦に於ては第三等級の山に過ぎず。然れども往古支那文明の中心たりし黄河の南北に於て、平野の中に屹立せる雄姿は、入をして崇敬の念を起さしむるによる。加ふるに古生層の巖石崢嶸として露出し、雄大の感を懐かしむ。小生の知る所によれば、泰山と頒せる印度名山を以て比せば、[illegible]山に近し。甲は八千五百尺、乙は五千六百尺にして、甲は古生層を乙は花崗岩を露出せり。兩山とも印度の高熱多雨の地に在るを以て、鬱林飛泉の勝を伴へり、泰山に在りては低温寡雨の地にあるを以て、蕭條枯瘠を免れ難し、故に兩山に比するに下位たるを免れず、山路は麓より巓に至るまで、支那里四十里と稱す、即ち往古より封禪の爲め、歷代の帝王の登攀せし御道の遺趾なり。唐の玄宗皇帝、道教を好み、泰山の登攀を爲し、石磴を補設し御道を修築せり。李太白の詩に、「四月上泰山、石平御道開、六龍過萬壑、澗谷隨縈廻」と云ふ。即ち當時の景なり。唯六龍の一事は詩人の誇張の言なるが如く、大唐皇帝の勢力を以てするも、六龍に駕して玉車を登らしむるは、現時の登山道に於ては不可能なり。素より印度の兩山の例を以てせば、六龍の奔馳は普通にして、小生等の如き通常の旅人にても、アプ式に於ては六龍には非ざるも、双龍を駕せる快車を用ふと雖も、其道頗る紆徐にして、車行に便なり。泰山に於ては、急峻の所は四十五度に近く、車行すべからず。又唐時に於て別道ありしと思ふべき、舊跡を山腹に認むる能はず。若此山にして印度にあらんか、英人は決して石磴級級の站息に甘んぜざるべく、十八尺の車道は必定山巓に至るならん。或はニリギリ山の如く汽車の開通を見るべし。支那に於て名山と稱する所は、或地點に於ては嶮峻を强ひ、纍雖に克つを尙ぶが如き感あり。近時の石磴は、多く乾隆帝登山の時の修築を基本とし、時々の小修繕を加ふるが如し。登山路の兩側には並柏樹を植う。行樹の中を行くは、最も人意を快くす。小生の見る所によれば、支那中行樹の數十里に連なれるは、四川の險棧を下り、以後連續數百里の行樹あり。其樹も柏の如く記憶致候。我邦の行樹は、概ね松を用ひ、唯日光山に到る途上は杉を用ふ。支那に於ては柏なるが如し。一般に我邦は行樹を通常とすれども、支那に於ては頗る稀なり。若他に行樹の數十里に連なるあらば、幸ひに御示教を希ひ候（十一月七日南京に於て）

新支那漫言　十

布施知足

更に世上に行はるゝ、對支の議論に甚だ服すべからざるものゝ一あり他なし對支の經營は範を露國に取らんとするの議論之なり論者の意思へらく支那は口舌の雄なり理義を以て服せんとせば即ち屈すべからず且威嚇の念甚だ薄し信義を以て臨むも遇する事厚きに過ぐれば即ち却つて狎れて輕侮の念を發す如かず鐵腕直ちに之を壓し去りて斷々吾が思ふ所を貫かんには露は此の如くにして常に支那に對して成功するにあらずやと是に於て乎露が往日滿洲に於ける所作は更に新らしく傳へられ近時外蒙古に於ける經營の跡亦往々にして雄圖として美稱せらる吾等は之に同ずる能はず吾日本の過失は寧ろ時に露の高壓手段を學ばんとし自然の原因に依りて其終に行ふべからざるを見るや忽ち又之を改むるの已むなきに至り乃ち其政策が半上落下常に適從する所無きに在り而して根本は實に學ぶべからざる露を學ばんとするに基づく吾等は世人が明白に此點を理解せん事を望まざるを得ず私に思ふ此露國が支那に於けるは其關係必らずしも友邦たるにあらず少くとも友誼を以て兩國關係の基礎とせざるべからざるものに非ざるに似たり蓋し露支の關係はクロパトキン將軍が既に指摘せる如く專ら國境線の上に在り換言すれば其關係の骨子は地に在りて人にあらず宜なり露が支那に對する態度の常に高壓的にして必らずしも支那國民の利害と感情とを念とせず即ち當路者を壓して吾が思ふ所を遂ぐるに滿足するや我邦の支那に於けるや之と異なり兩國交涉の眼目は人に在りて地に在らず吾等の期する所は支那二億七千萬の國民をして自已の利害に關し日本と其感情を共通にせしむるに在り吾等は我邦が撤頭撤尾支那と手を携ふべきを見る自ら上に居り下として之に臨むべきを見る能はざるなり吾等は露國が如何なる事情の下にも支那と結ぶの希望を有すべしとは信ずる能はず然れども我邦の必要は支那を强からしめ之と結び之と伴ふに在るを思はざるを得ず吾等は支那が興に强國となり已れの力を以て自國を衞り更に我邦と力を合せて世界平和の保證に任せん事を切望す吾等は亞細亞人の亞細亞を背景とする支那論が必らずや茲に歸著すべくして未だ歸著せざるを怪しまざる能はず蓋し邦人が支那に對する確信の足らざるや口に支那の扶くべきを言ひて心に支那扶くるに足るを信ずる能はざるものに似たり試みに世の所謂支那通及び支那を論ずる新聞雜誌の論調を見よ比々として之れ支那の弱點を摘抉するものにあらざるは無し彼等が吾等の前に描き出せる支那は國土徒らに廣くして邊防整はず民衆徒らに衆くして紀綱振らず其人民は譎詐刻薄外に顧内に瞞一も取る所なきものゝみ此の如き描寫を基として支那を觀支那人を觀る歸する所は斯の如き邦久しく立つべからず立つべからずんば則ち人の未だ取らざるに當つて吾先づ之を取らんと云ふに在らざるべからず吾等は支那の圖師として立つべき日本の思想が斯の如くなるを寂ぶ事能はず吾等は先づ支那の美所を觀ざるべからず支那立つべしと云ふ確信に生きざるべからず信仰は即ち支那の更生にして努力は更生を來さんが爲ならざるべからず不幸にして吾等は復此點に於て日本の努力の從來甚だ微かなりしを認めざるを得ざるを悲しむ忌憚なく謂はゞ邦人が支那に對するは支那到底自力を以て立つ能はずとし其立つは日本の勢力が支那全土に遍きに至りて初めて能く然るを得べしとするものに似たり是に於てか其發して論策となるもの不用意の間乃ち支那獨占の希望を漏さゞるを得ず既に獨占と云ふ勢ひ外國の勢力が支那に入るを喜ばざるを得ざらんとす此意味に於て近時邦人の眼に甚だ快からざるは米國なるに似たり

冬一景

前川千帆筆

朝鮮葉煙草政策私論（五）

葉煙草買收機關設立の急務

廣江澤次郎

忠州米葉

幹干耕作は騎干に比し若干減量を見ると云へ、騎干の倍額以上に取引されつゝ有る高價なる幹干の生産費百匁僅かに八錢に過ぎず、吾人は孰れの點よりも純農夫の覺悟を以て營々耕作せば有利有望にして間違なき事を保證するものなり。創始後僅々四年に過ぎざる忠州米葉も今少しの改良を加へなば米國本場物に遜色なきに至るや疑なし。吾人は當局の苦心と其進歩の迅速なるに敬服の外なし。只茲に問題は資金關係のみ、乃ち自然の變化所謂岡田技師が唱道さるゝ醱酵をなす餘裕の如何に歸著するのみ。吾人は各方面より朝鮮産葉を研究する事如斯し。而して徹頭徹尾其有利有望なる事を喜び、且つ日本煙草の壯圖に對しても、必ずや完全に其兵站の任務を果すに闕遺なき事の再び確認を得たるを感謝するものなり。

産業改善の要點

併し吾人は製造家の側より見たる今後の改善要點の大體を具陳し、關係當事者の參考に供し置きたし。

一、在來種に就て

（イ）荷造改善の事
理由從來の荷造は不完全にして往々脱落し且つ取扱に不便なり困て長途の運搬に堪へず貯藏上頗る不便なり　但參考として支那産葉松の荷造法研究の事

（ロ）乾燥を完全にする事
理由乾燥不充分なるもの荷造りする爲往々貯藏中腐敗するものあり、特に晩春と雨季前後は最も危險時期とす

（ハ）調理を好くする事
理由一包中品質上中下混入し有り不便故品位別にする事

（ニ）異臭を除き吸火力を増す事
理由肥料の關係に依るは勿論幾分未熟の葉を收穫する結果異臭有り又吸火乏しきを遺憾とす

（ホ）醱酵を完全にする事
産地により青色を脱せざる葉質有り未熟の物を收穫せしも一原因ならむが耕作法進歩し居らざる結果未醱酵のためならむ

（ヘ）口付用としては展葉奬勵の事
口付原料としては展葉を要望す故に農家の副業として展葉奬勵され度き事

二、日本種に就て

（イ）荷造を改善する事
理由目下行はれつゝ有る四六貫は頗るよきも其中に不良品を往々發見するを遺憾とす荷造の改善と共に檢査を重んずる事

（ロ）乾燥を完全にする事
理由在來種に比し幾分勝るも猶改善を望まざる可らず

（ハ）調理を好くする事
理由内地種は大部分口付用に使用さるゝを以て葉分け品質の整一なるものを一包となす事

（ニ）刺戟性を除き吸火力を増す事
理由内地種は産地により刺戟性多く且つ吸火力乏しき恨みあり

（ホ）醱酵を完全にする事
理由在來種と同斷なるも特に醱酵すれば[illegible]の減少を恐れ殊更せざる不正の徒あるを遺憾とす

（ト）内地産の如く彈力性を増す事
[illegible]幾分空氣の乾燥も一因ならむが畢竟耕作者の不熟練の罪に歸せざる可らず之れ等は當事者の研究に一任す

三、忠州の黄色質に就て

（イ）純粹米葉に比し稍々葉肉薄く香味充分ならざる感あり
（ロ）純粹米葉に彈力乏しき恨あり
（ハ）純粹米葉に比も幾分剛軟性を帶ぶる感あり
（値段の點より小言の餘地は更に無きも心附きたるまゝ附記す）

右は孰れも多少斯業に忠實ならむとするもの、熟知する所なるべきも此機に於て吾人は更に關係當事者に具陳し一層朝鮮産葉の品位の向上を闘られ度く翹望するものなり。而して之が改善促進策として各産地に於ける耕作組合の煙草倉庫を通過せしめ嚴重なる檢査をなすを捷徑とす。此改良にして行はれんか、朝鮮葉は鬼に金棒、世界に其名聲を馳する難きに非ず。

印度洋上より

坂出鳴海

拜呈十一月三日古倫母につく船のりかへて只今盆買に航行中右手に印度のデッカン高原を見る、上陸は一月九日か、是から印度内地の旅行にかかり可申候（十一月七日）

古倫母にて
芭蕉高し錫命の僧黄衣なり

京日詩壇

○始政五年共進會　成田碧石
萬人如醉百工妍。景福故宮花粲然。八道山河皆昭穆。雲雨翼風五周年。
評曰　麗而不縟、華而不肆、兵是雅頌之言

「日記界の權威」『國民日記』の特色

需要供給の原則によつて年々日記類の刊行さるるものも少くはないが大方前年來の體裁やら編輯法やらを套襲して唯月日に關係した部分のみを改めるに過ぎないと言ふやうなものが多い。これでは第一一年三百六十五日毎日々々の用に供さなければならない坐右の友としては甚だ不適當である。すぐ飽きられて了ふのは當然である。外形から言つても内容から言つても常に清新と充實とを心掛けて趣味の豐富と實用有益の點に於て我々が活動裡の伴侶たるに適切ならしめねばならぬ。即ち製本及び紙質を吟味して耐久的たらしむべき事、意匠を凝らして趣味あらしむべき事、内容を豐富且實用的ならしめて日常知識の顧問たらしむべき事等ざつと擧げても此等の資格は十分具備してゐなければならぬ。こゝに江湖に推擧せんとする我が「國民日記」は斯かる日記界の缺陷を補ひ我が國民日常必須の要求に應ぜんとして生れたもので、以上の諸點は悉く注意に注意を加へて毫も遺漏なきを期したのである。先づ上等のクロース仕立ての表紙の意匠に眼を見張る間も無く開卷直ちに一枚の吸取紙が手に觸れる。これは言ふまでも無く此日記の周到なる用意の那邊にまで行渡つて居るかを證明して餘りあるものである。それから月月の初めには廣業、清方、蕉園、百穗、耕花、輝方等十二畫伯のそれぞれ特色ある名畫が挿入してあつて飽かず打眺められる。其裏面には月々の季節と式日、行事、節物を面白く掲げてある。さて中に進むと一頁を一日に配して其三分の二を記録の爲に殘し下方三分の一には古今東西百般の重要知識を網羅して一は日々の誦讀に便じ一は又必要に際して咄嗟の檢索の爲に資してある。尙其欄外には舊曆までも書き添へてあるが之れを掲載する爲には人知れぬ非常の苦心を經たので竊かに此日記の最大特色とさへ編纂者には考へられて居るといふ位である。其他在來の日記類に存するものは一として完備してゐないものは無いが、附錄に載せた五十に近い重要事項の内婚禮の儀式、育兒の栞、家庭救急療法、交際の心得、料理法、衣服の事、花卉園藝の事等をも加へた如きは如何に此日記が日本國民の家庭と言ふ事に眼目を置いたかと言ふ事が證明される。其他重要諸規則、俳句歳事記、年齡早見表、萬年算月表等社會百般の事何一つとして忘れてゐるものは無いと言つて可い。日記界の權威、日本國民の代表的日記と言つても僭越ではない事を信じて江湖に推薦する所以である。

大正五年　國民日記

定價金四拾五錢　郵税金八錢

取次所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

◎陳其美の懸賞逮捕

上海鎭守使楊善德は今回の革命動亂の巨頭と目され居れる陳其美を逮捕せんと目下頻りに各方面を物色中なるが其の所在杳として判明せざるより七日共同租界を包圍して大捜索を試みたるも失敗に終りたれば今回左の懸賞を以て陳を逮捕するに決したり(北京特電)
▲陳其美を發見して其の所在を上申したる者に對し金三萬兩、陳其美を伴ひ來れる者に對し金五萬兩

◎二百萬兩の受領 英支同盟と帝政運動

籌安會の首領楊度は去る九日在北京英國官憲より英支同盟締結の意味を含み二百萬兩を受領し右の金額は直ちに其の半數を帝政運動の費用に充當し殘金は支那革命黨鎭壓費に充てられ籌安會の活動は俄に活氣を呈し來れり(北京特電)

◎袁氏皇帝推戴と奉天省

北京に於る國民代表決議及び全國投票の結果が國體變更袁總統皇帝推戴に決せるを以て段上將軍は袁總統に賀電を發すると共に奉天城内外に國旗球燈を掲げ敬意を表せしめたり(奉天特電)

◎袁氏皇帝推戴と安東縣

袁世凱氏を皇帝に推戴し國號を「中華帝國」と稱することに決定せる旨十二日夜段奉天上將軍より東邊道尹へ訓電逹せるに付き當地支那官民一般に三日間國旗及び球燈を掲げ祝意を表す(安東縣特電)

◎海軍の大異動と進級

十三日海軍大異動及び進級發表せられたり其の主なる者左の如し(東京特電)

海軍中將 八代六郎 補第二艦隊司令長官
同 名和又八郎 補第三艦隊司令長官
同 坂本一 補海軍將官會議員
同 川島令次郎 補同上
同 山屋他人 補海軍々令部次長兼將官會議員
同 財部彪 補旅順要港部司令官
同 黒井悌二郎 補馬公要港部司令官
同 野間兼雄 補第六戰隊司令官
同 栃内曾次郎 補海軍技術本部長兼海軍將官會議員
海軍少將 (電文不明) 任海軍中將 補第二水雷戰隊司令官
同 伊藤乙次郎 任海軍中將 補呉工廠長
同 江口麟六 任海軍中將 補横須賀海軍工廠長
同 田中盛秀 補佐世保海軍工廠長
同 佐藤鐵太郎 補海軍大學校長兼軍令部出仕
同 上村翁輔 補舞鶴海軍工廠長
同 博恭王 補第二戰隊司令官
同 岩村團次郎 補第一水雷戰隊司令官
同 岡田啓介 補海軍省人事局長
同 井出謙治 補第四戰隊司令官
同 森越太郎 補海軍技術本部第二部長兼第三部長
同 山中柴吉 補呉鎭守府參謀長
同 近藤常松 補海軍水雷學校長
同 森山慶三郎 補海軍軍令部參謀
同 平岡貞一 補横須賀海軍工廠造兵部長兼海軍技術本部技術會議員
同 吉島重太郎 補第三水雷戰隊司令官
同 釜屋六郎 補水路部長
同 松岡修藏 補第四水雷戰隊司令官
同 [illegible]太郎 補第三艦隊參謀長
同 岡野富士松 補佐世保海軍工廠造兵部長
同 永田泰次郎 補第二艦隊參謀長
同 舟越楫四郎 補海軍々令部出仕
同 堀内三郎 同
同 廣瀬順太郎 補第(不明)艦隊參謀長
同 小黒秀夫 同
同 町田駒次郎 同
同 大島正毅 同
同 片岡榮太郎 同
同 上村經吉 同
同 秀島熊吉 同
機關少將 江連瑳磨橋 同
軍醫總監 木村壯介 同
待命被仰付(各通)
軍醫總監 本多忠夫 補海軍省醫務局長
同 矢部辰三郎 補海軍々醫學校長
主計總監 清水宇助 補横須賀海軍經理部長兼横須賀鎭守府主計長
同 相良澄 補海軍經理學校長
中臺順吉 待命被仰付

▲進級
軍醫總監 戶祭文造
主計總監 中臺順吉
陸敍高等官一等 海軍大佐 吉島重太郎
同 釜屋六郎
同 松岡修藏
同 高木七太郎
同 岡野富士松
同 永田泰次郎
同 舟越楫四郎
同 淺野正恭
同 堀内三郎
同 廣瀬順太郎
同 小黒秀夫
同 町田駒次郎
同 大島正毅
同 片岡榮太郎
任海軍少將(各通)
機關大佐 大橋省
同 江連瑳磨橋
任機關少將(各通)
主計大監 相良澄
任主計總監
造船大監 白井顯吉
同 山田佐久
任造船總監(各通)
造兵大監 有坂鉊藏
任造兵總監

支那帝國の國旗

今回制定したる中華帝國の新國旗は中央月形の丸の中に五色の星を現はし周圍は全部黄色に彩色さると(北京特電)

雜報

◎時局と朝鮮産業 畜牛及養蠶の影響

歐洲の戰亂は鮮内の畜産界に多大の影響を與へ、生牛、牛皮、牛脂の輸移出激増並に價額の增進を惹起せり今大正元年以降三ヶ年間に於る之等の輸移出數量を見るに生牛は元年中の輸移出頭數七千卅頭價額二十萬七千六百六十一圓なりしもの二年には一萬一千三十八頭價額卅三萬六千八百七十九圓となり三年に於ては更に二萬二千八百十九頭價額八十一萬五千五百四十八圓に達せり、又た牛皮は元年中の輸移出數量三百三十三萬五千七百九斤價額百三萬二千二百八十圓なりしもの二年には三百四十五萬八千百七十七斤價額百二十六萬七千五百六十九圓となり三年には四百二十五萬四千九百五十一斤價額百五十九萬七千七百三十六圓を算し、牛脂は元年の

▲輸移出數量 五十五萬三百三十二斤價額六萬六千六百二十四圓なりしもの二年には六十二萬二千二百三十五斤價額九萬二百二十二圓となり三年には七十五萬二千四百八斤價額十一萬七千四圓を數ふるに至れる而已ならず本年に入り生牛、牛皮は更に一層急激なる需要を惹起したり即ち本年一月より八月迄の輸移出累計を前年と對比すれば左の如し

年次	生牛 數量	生牛 價格	牛皮 數量	牛皮 價格
大正三年自一月至八月	六、六五三頭	一六一、三七五	二一三、四五〇斤	八四、三五〇
大正四年自一月至八月	二〇、一九〇頭	三三〇、七八四	三八〇、九二〇斤	一二五、三二五

備考 大正四年分には陸接國境輸出六月後の累計三、三七〇頭一四三、五九八圓を含む
備考 大正四年分には陸接國境輸出一月より八月迄の分一二、一五〇斤四、五四五圓を含む

然れども生牛、牛皮の如きものは急速に其生産を增加する能はざるを以て一時に多數の輸移出、屠殺等を爲すときは向後の

▲生産上障害 を來すの虞なきを保せざるが故に當局に於ては生産に適する優良牛に對しては輸移出屠殺等をなさしめざる樣警戒し居れり、而して蠶業界に在りては歐洲戰亂の影響に依り家蠶繭の價格著しく下落を告げ、本春の相場を昨年に比較すれば約三割方の低落なりしが養蠶家は之が爲め特に青蠶を手控へたるの事實は的確に之を認むる能はず只繭價の低落に依り養蠶家は一般に買惜みの傾向を生じたる爲め繭は自ら製系して以て織紬販賣したるもの尠からざりしは蔽ふ可からざる事實にして本年の繭販賣數量及び移出數量が豫期に達せざるものあるは即ち其影響と見るを得可し、又作蠶は家蠶繭以上に暴落し一時貿易上至大の悪影響を及ぼせるより斯業の前途を悲觀せしもの尠からざりしが昨今市價の奔騰は忽ち此市況を恢復し家蠶繭は勿論、作蠶系の輸移出大に活氣を呈し居れるは喜ぶ可し

◎航運界の活躍

内地船腹の缺乏は將來更に其の度を高むるに至りたるが右は畢竟時局に對する影響に伴ふ自然の結果として全世界を通じ汽船大拂底を告げしに原因するものなるを以て今や内地の汽船主は此の趨勢に乘じ遠くは新嘉坡以西にまで進んで活躍するもの少からざるも尚ほ一面從來英國の汽船の獨占せる南米全體の航運事業も頃日同國政府が交戰の必要上其國籍汽船に對し何時徵發せんやも知れずとの内訓を下せしやにて之れが爲め同汽船は殆んど杜絶となりたるが以て其の方面の海外輸出を目的とせる一般農産物を初め其の他の貨物は忽ち到る處に推積し荷主は日夜船腹の缺乏を訴へつゝあれば其殘存の汽船も今後其要求に應じて更に活躍を見るに至るべく從つて船腹の缺乏は愈々其極々點に達すべきや必然の勢ひなると同時に航運界は一層の活躍を呈せんとて今や所在の汽船主は一齊に斯界の前途に注目を拂ひ何れも船繰に忘殺さるゝ狀況也と(大阪)

◎水源池の修理 完成後は斷水の虞なし

京城水道水源池の修理工事は前月來三號四號の濾過池修理中の處四號池は旣に全部の竣功を告げ今や三號池の修理中にして兩池の工費は一萬圓を計上せり、而して英國製ジョンス式自動給炭機の取付け工事は範多商會より明春二月末機械の納入を俟ちて工事着手の筈なるが同機械は石炭全部の燃燒を司るものなれば煤煙を出すこと無し其の工費は八千圓なりと其他尚ほ修理工事に屬するものは水源池の排水工事にして延長百間の新設ゲージーペーション及び五箇所のコンクリート煉瓦積改造工事工費千七百圓濾過池の入口及び基礎の改造並に構内地均其他雜工事工費二千二百圓第二取水口クリップ及び吸揚井戸改修工事一千圓、吸水管口止水栓取付工事五千圓等にして右は孰れも本年度内に於て工事全部の竣成を告ぐる豫定なり之等の工事にして完成の曉には今後給水區域に對して斷水を生ずる虞決して無しと

◎奥田氏叙勳披露

今回叙勳されたる仁川商業會議所會頭奥田貞次郎氏は來る十五日午後六時より仁川の重立ちたる有志二百餘名を仁川ホテルに招待し叙勳の披露宴を催すべし

◎スミス監督と仁川 朝鮮メソヂスト教會監督部長スミス宣教師は來る十九日早朝來仁同日午前十時より仁川山手町メソジスト教會に於て『理想の教會』と題し講演すべし來聽隨意なりと

議會覗き

東京支局 一記者

▲菀こなしの質問戰が濟んで十日から小刻みの豫算總會、打ち見て前日に變る節觸れがあるでもなく、首相と陸相は相變らずの病氣缺席で、月並みの各大臣を除いては參政連が押すな〳〵と詰かけた丈け▲其れでも呉越同舟の傍聽席だけは却々の繁昌でフロックの頸に白い絹手布を卷いて凄い眼を光からせてゐる犬養君やモーニングのズボンに兩手を押し込んで心配相な顏をしてゐる安達君▲伊東知也君が例のヤヂゥを極め込んで國民黨の腕白連と何か可笑しさうに笑つてゐる位が出色の背景▲暖かさうな初冬の日差が玻璃窓に射込んで早くもコクリ〳〵と船を漕ぎ出す者もあると突如野黨の領袖元田君から『一體全體首相や陸相は何うしてござる大切な兩大臣を缺いで尚審議を續くるつもりか』と手厳しい一彈▲大臣席假から圖掻めいて驛長然たる一木内相先づ『ゴ附き耳打の限りを盡して『病氣のこと故確答は出來難いが兩三日中には……』でお茶を濁さうとすると▲政友會の森藤珪次君は質問が出來ぬ』と教團〳〵▲すると武富藏相ブラ付いてる言葉尻をとつて『チヤンと國庫に納めてある、ブラ付とは以ての外』と聲色を使つて問題を外して終ふ▲參政官問題以來默の尾崎法相に猪突く森田小六郎君が控室に歸つて『大臣中答辯の巧いのは武富藏相だ無駄を云ぬからなア』と褒めちぎつて曰いて『尾崎司法と來てはナツて居らぬ』▲廢税一點張りの高木益太郎君、今日はズツと河岸を變へて海軍に關する質問『攻撃は軍艦の横ッ面のみならず、天空より爆弾が直下して來るではないか』と大戰術を說き出して睡氣覺しの巨砲一發滿席哄笑▲高木君旺んに調子附いて『手癖の惡い大浦と同座して居るズリが隣に座つたも感せず取締なかつたは何らいふ譯だ』と尾崎法相に喰つてかゝり『今日は傍聽人が居ないから人に聴かれる體裁の惡さもないから正直に述べたら宜からう』と寒附く▲法相も減らず口には負けては居ない『高木君のお仰ることは小說の一節だ』と無遠慮にまくし立てゝチョン幕(十日夜記)

大阪より

▲硫安値上決定 日本舍密硫安肥料大阪アルカリ其他の硫酸製造會社は過日來値上の協議中なりしが九日の協議會にて御値段一割の値上げに決定し尚左記値段の外に函詰は函代及び詰賃として一個につき六十錢綑掛荷造賃として一個につき十錢を附加する事にせり

▲特製六十六度二圓七十錢▲普製六十六度二圓廿五錢▲精製六十五度二圓四十錢▲普製六十度一圓六十錢▲特製六十度一圓四十五錢▲五十度一圓廿錢(單位百磅瓶に付)
▲南大日本人造肥料にては大和田の硫酸工場に於ける製品の販賣價格二十錢上げを發表し即ち二圓二十錢となしたるが同製品の販賣月額は一萬擔にて四百八十噸なりと

▲操短と需給關係 全國紡績聯合會に於て協定したる操短短縮は二月一日以降に於ける需給關係に同業者の注意せる處なるが目前の操短狀態より豫測するに不幸にして數字は全般需給關係をして益々供給過剩の懸念を增加せしむるものあり一割は錘及び四晝夜休業を行へる十一月の産額は十五萬四千餘梱に上れる限り假りに一割撤廢の反應を共の牛額五分と見積るも尚來年二月よりの製額は七千七百梱を增加すべし將た四晝夜撤廢休業により内二晝夜の操業を行ふ現行四晝夜休業中の一箇月二十六日半を標準として約七分五厘即ち一萬千六百梱に當り休錘休業撤廢による增加率は合計一萬九千三百餘梱に上るべし然らば二月よりの製額は十七萬三千梱に達するを以て之を消化するには内地需要高七萬五千梱、會社織布消費高三萬三千梱、輸出六萬五千梱を計上せざるべからず而かも今日迄の輸出は最高六萬梱にて平均五萬二三千なるを以て右の供給高到底消化する能はず且つ内地需要七萬五千梱の消化不能は過去に照して明かなれば來年度の需給關係は何の點よりするも到底樂觀する能はず

▲烏敦運賃率追加 烏敦航路の運賃換算率につきては曩に露國義勇艦隊及び大阪商船會社の協議により決定を見たるが其際は露貨相場が百圓につき百五十留以内なりし爲め其の範圍内にて協定し置きたる處最近露貨益々下落して百六十留以上になりたる爲め更に換算制定の必要あり過日來協議の結果此の程左の率を以て邦貨運賃を換算する事となりたり
百六十一留の時は百四十五留▲百六十二留百六十三留の時は百四十六留▲百六十四留百六十五留の時は百四十七留▲百六十六留以上七百留迄の時は十八留なる割引の率

▲露領課税通牒 極東露領に於ける無貨は更に課税すべき官報は七日ウラジオストックに到着即日施行せられたる事は周知の如くなるがこれにつき外務省通商局に於ては即日此の通牒を全國一般に逹したるが之と同時に露國政府に向つて目下該法令の實施日を交涉中なる事を附加し居れりと(支局發)

東京發別電
▲聯合軍の努力 歐洲來電に[illegible]告の趣旨を徹底せしむべく五國政府は支那政府に對し五國の決意を通告[illegible]る事と爲れるも病氣再び惡化し[illegible]
▲東京天氣好晴 小春日和打[illegible]
過日の鐵道證券拂込みにて一時四百圓の激增を示すに至れり去れど十一日の現況は九十二萬六千圓の減少[illegible]五百六十二萬六千圓を示すに至りた[illegible]相場は一錢五毛乃至一錢一厘[illegible]

京日案内

◎普通 一回前金三十錢(無割引) 匿名一回每に金五錢增

◎番外 一回前金六十錢(無割引) 匿名一回每に金五錢增

◎小兒遣り度し 本年十一月生 系統純正體質強健 ▲山田 159

◎貸家 日本建温突付三室有 本町三の五四番地 官吏向 漢陽公園南裏 管理者 舊龍山印刷局先畑中 79

◎家具全般 ▲歳暮大賣出 一等より十一等迄一本も空籤なし 付賣出 一圓御買上に對し一本 本町三丁目 電話三二五 家具塗物 橋本店 155

新案實用 堅牢椅子 監獄製造 火鉢 洋家具 專業 京城黃金町二丁目 出張所 松浦 電話三三五九 154

内科 兒科 專門 胃腸 呼吸器病 京城本町二丁目 壽町 元中島病院跡 (入院隨意) 山田醫院 電話二八八〇番 81

▲質屋移轉 元營業所支那領事館通に移轉 ◎土藏新築 嚴重に御取扱申候 黃金町二丁目長橋通入 電話二九一六番 田村質店 902

梅毒 肺結核 外科 内科 島崎病院 壽町(本町二丁目右入) 電話二七三六番 診察夜九時迄 ◎隔離及普通病室有 87

◎質 ◎秘密を守り精々勉強 仕り親切に取扱申候 黃金遊園前電車停留所横入 電話二二一番 金子質店 96

齒科 專門 齒科醫學士 橋本淸次郎 南山町巴城館通(電話二九二〇) 橋本齒科醫院 125

開業 ◎秘密を確守し大勉強 ◎確實に諸品買受申候 ◎御通知次第迅速に御伺申候 黃金町三 新古物商 藤本古物店 132

質 京城黃金町二丁目 (永樂町停留所北入) 堀佐營業所 電話六三九番 135

開始 ◎葬儀舍は葬具全部新調の物を使用し懇切迅速御便利に且葬具料極低廉に御相談仕候 若草町七〇神佛 電話取次二七二六 一葬儀舍 136

結核 核浸潤 古癩 賀液注射療法 (入院隨意) 京城南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 143

◎諸株式 公債 債券 賣買 大阪野村德七代理店 京城本町二丁目九三番 電話長九三番 田中友吉商店 144

門松用松 長さ三四尺 三萬本限り 特價提供 入用者御來談あれ 京城南大門通三 三輪商會 電話三八六番 戸田春藏 146

◎子供好にて親切なる女中を求む ◎江景に知己の宅で用有る家庭に於て良く女中雇入度旅費も給す家族同樣待遇す詳細面晤 ◎江景 ▲共榮商會 151

梅毒 肺結核 淋病 外科 内科 黃金遊園前電車通 上野醫院 電話二九三四番 ◎診察夜九時迄 ◎往復電車の便有 97

恩給年金退隱料長期即時取引 十二月廿五日迄二萬圓限度貸付 千圓以上特別契約 黃金町通櫻井町入軒西四ッ角 電話一一三一番 博多屋本店 103

廣告

來る大正五年一月一日新年祝賀の爲め名刺交換會を開催し以て往年の禮に代へむとす御贊同の上會費金五拾錢を添へ京城府廳へ申込まれ度し
大正四年十二月
名刺交換會發起者 原田金之祐 金谷充

記
一 會場 南大門公立尋常小學校構内
一 日時 大正五年一月一日午前十一時
一 申込者 ハ名簿調製上必要アルニ付住所、職業(在勤先ヲ記入スルコト)氏名、原籍(府縣名ヲ記入スルコト)電話番號ヲ通知スルコト
一 申込期限 大正四年十二月二十日正午限リ期限經過後は申込を謝絶す

始政五年記念朝鮮物産共進會 仁川協贊會決算報告

收入之部

款	項	金額
一 寄附及醵出金		五、三七五、八〇〇
	一 寄附及醵出金	五、三七五、八〇〇
二 觀覽料收入		五、三一六、七六〇
	一 水族館觀覽料	五、三一六、七六〇
三 雜收入		三、一五四、七七〇
	一 雜收入	三、一五四、七七〇
四 補助金		一七、〇〇〇、〇〇〇
	一 總督府補助金	三、〇〇〇、〇〇〇
	二 京畿道補助金	五〇〇、〇〇〇
	三 仁川府補助金	一三、五〇〇、〇〇〇
計		三〇、八四七、三三〇

支出之部

款	項	金額
一 事務費		三、四七〇、九七〇
	一 給料	二、三三三、四五〇
	二 雜給	四七五、三五〇
	三 需用費	六六二、一七〇
二 諸建築費		一〇、三八八、八四〇
	一 水族館及附屬建物一切	九、七〇〇、六八〇
	二 雜費	六八八、一六〇
三 設備費		一〇、一九九、二九〇
	一 設備費	一〇、一九九、二九〇
四 餘興費		二、〇九六、二四〇
	一 餘興費	二、〇九六、二四〇
五 接待費		一、五五三、五六〇
	一 接待費	一、五五三、五六〇
六 雜費		三、二二八、五三〇
	一 印刷及廣告費	二、六四五、四六〇
	二 諸雜費	五八三、〇七〇
計		三〇、八四七、三三〇

大正四年十二月十日
仁川協贊會 會長 久水三郎

新刊書御案内

書名	著者	定價
戰時經濟講話	上田貞次郎	[illegible]
國民經濟學原論	[illegible]	[illegible]
軍國主義	蜷川新	[illegible]
岡田式靜座三年	岸本能武太	[illegible]
心の修養	[illegible]	[illegible]
田園訓	[illegible]	[illegible]
貯金の秘訣	[illegible]	[illegible]
安價生活法	[illegible]	[illegible]
債權者の權利損害豫防策	[illegible]	[illegible]
朝鮮鐵道旅行案内		[illegible]
カイゼル著 朕が作戰	[illegible]	[illegible]
明治大正二萬三千句	[illegible]	[illegible]
聖パウロ	[illegible]	[illegible]
冷笑	永井荷風	[illegible]
自由社會の男女關係	[illegible]	[illegible]
社會的近代文學	[illegible]	[illegible]
文學の本質	[illegible]	[illegible]
うきよ	[illegible]	[illegible]
金剛草	[illegible]	[illegible]
さくら子	[illegible]	[illegible]
西洋通史一卷	[illegible]	[illegible]
朝鮮名勝詩選	[illegible]	[illegible]

京城本町 大阪屋號書店

……國に努力しつゝあり然れども一般に成否は猶疑問とせられ居れりと

▲五國決意通告　帝政延期勸[illegible]

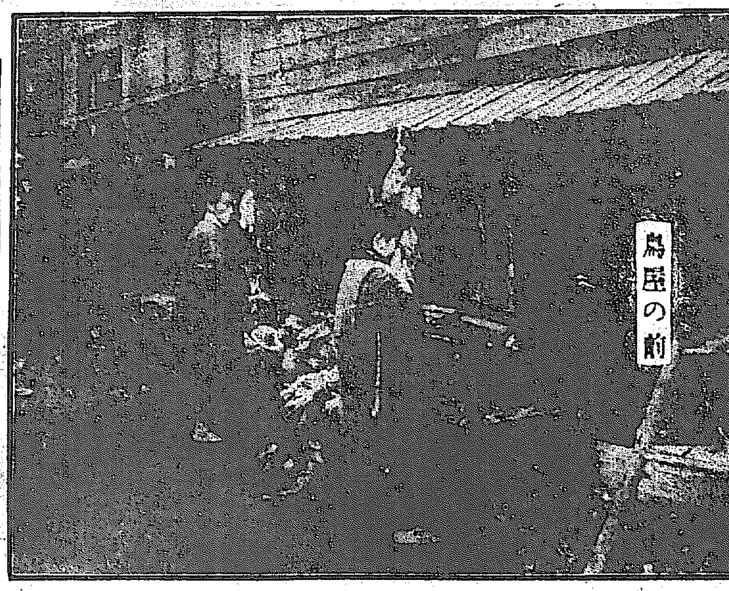
▲首相出席す　引籠靜養中の大隈首相は十三日より議會に出席す

▲西園寺侯參內　西園寺侯昨十二日參內兩陛下に拜謁せり

[illegible]轢殺せり

●大阪金融軟弱

增加し來り[illegible]七萬六千圓の預金は十日の帳尻に九百七十九萬四千圓に達して[illegible]餘萬[illegible]九日の帳尻に於ける同支店の貸出四百八十五萬四千圓は十一日の帳尻に[illegible]ものありと云ふべく更に[illegible]手なく是れ一つは日銀預金を膨脹せしむる原因なるが而も越年コールは取手のみにて出手少き振合ひにして[illegible]は最近[illegible]低四厘五毛唱への物七厘乃至八厘唱へとなれりとの說ありて兎に角同市[illegible]


鳥屋の前

●彼方にも此方にも鋭い眼

節季師走は人の心を引緊めて　本町筋を罩めた慌しい景氣の色

慌だしい師走の色彩の日增に鮮かに且つ深くなつてゆくのは京城では本町通りを措いては他に見られない試に一丁目から見て步けば呉服、西洋雜貨、食料品から酒屋、醬油屋に至るまで連合賣出し各個賣出し、いづれを見ても

■景品付の大繁昌

例によつて例の如きけばくしき色とりくの旗幟に購買心を煽りたてゝ素晴しい勢ひである、平素でも多い人通りの滅切り增して午後の三時頃から夕方の七八時頃にかけての雜沓は宛かも芋を洗ふの觀があるがそれでも案外事故の少ないのは師走の空氣が道行く人の總べてを緊張せしめて其處に一分の隙も見せない爲でもあらうか、街の角のところくに

■見張のお巡さん

の數も增せば斯る時を書入紋日の樣に心得て店の混雜、群集の中に立交つて人の品物を默つて可愛がらうといふ掏摸、萬引を取締る角袖が鋭い眼を光らして睨み廻してゐる見逃がす事の出來ぬ一つの現象であらう、聞けば近頃本町署では窃かに市中取締りの人員を增し尙ほ追々目の迫るに從つてその人數も續々增してゆく筈だといふ、此頃一般通行人に與へる注意事項の中で最も多いのは呼鈴を附けない自轉車、右側通行違反等であつて

■此の忙しさには

喧嘩口論などの滅多にないといふのも左もありさうな事である、今年の商品の賣行は果してどんなであらうか不景氣といふ事が不斷から口癖となつてゐる商人連中は相變らず詰まりませんとばかり景氣のよさゝうな顏を見せないが何んといふても共進會で何百萬といふ金が動いた京城にその後へ引續いて御大典で

■景氣立つた京城

では何處から覗いても悲觀する程の事もなささうであるし事實多くの金が細微な方面に散布されたのから見れば潤ほつたのは中流以下に多く例年と異つて一般の小賣商人がいゝのは今年の景氣の底强い證左であらうといふものだ、此秋に方つて共進會當込みの如何はしい一部商人の投機的な思惑が外れてギャフンと來た結果の倒產、逃亡なんど

■年の暮には有勝な

悲しい事實のある事は蓋し已むを得ないところであらう、斯くて次第に際立つてくる本町の景氣も二十日を過ぎて勤め人の俸給年末賞與の渡る頃本當の調子になつてくるのが例年の事實である

●あゝら不思議や、面白や

一級候補者中に妖雲むらくと

選擧と云へば二級のことの樣に思はれる位ゐに一級は問題にならぬ……こりや甚だ失敬、つまり人間も得票數も定まつて終つたわけだ▲だからこれから書くことは全部二級のことだと思つて貰ひたい▲と云つて見ると非常に瞭つて居る樣にも思はれるが其實を白狀すればやつぱり五里霧中▲そこで後一日と切迫詰つた揚句の果に考へたのが如かず神通力を借らんにはとの一策▲徐ろに天眼鏡を取り出して無念無想の三昧に入り形勢如何といふと▲あーら不思議や面白や今の今迄平靜とのみ信じたる一級の候補者中に妖雲むらくと立ち上りあはや一人又は二人の落伍者を出す可き氣配▲其原因を尋ぬるに東拓の選擧權が正副總裁不在のため一時は棄權とのみ思はれたが突然野田副總裁の歸任となつた▲それがため一級に二票の投票が剩餘となり之れを何處へ廻さうかと云ふ思案の結果が▲出る、否出ぬと噂された岡正矣君と志岐信太郎君とにお鉢が廻つたそれにいろんな力も加はり候補者に立たねばならぬ樣になつたとか、又はならぬとか▲何れにしてもこのまゝには納まりさうにもなく從つて足許のあやしい候補者は御用心あつて然るべし▲投票期日に切迫した昨日今日此樣に形勢が急轉するのだから寔に御同情に堪へない次第だ▲さうすると一級と二級とは正反對の形勢になつて來て一級の猖狂はせに引代へて二級は例の得票爭ひに餘念がない

▲新參の河村千次郎君は同業者の近藤修君が年廻りが惡くて斷念したのを幸に？約束濟の投票は殆んど河村君が一手に引受け門外候補者は俺一人だと澄して居ると▲谷口小次郎君門外に俺の居ることを忘れたな、今に眼に物見せて呉れんと云つたか云はぬか知らぬが▲イヤに力瘤を入れ出しこれに天日常次郎君なども妙な所に男氣を出して谷口君と共に何分宜敷くと出掛けた所は仰々しいことだ▲一番好いことをしたのが龍山の藤田君で執行君や大和君の得票をそのまゝ頂戴してつまり開いた口にぼた餅こ云つた格だ▲此向なら幸先頗る吉、得票數も最高點と來ればお誂向だが藤田君の名前の樣にさう安々とは問屋が卸すまい▲閑話休題選擧の豫報を書くのも之れを最後として今から約三十四五時間目には眞物の當選數をお報らせする譯だが▲最後に會議所の書記長室に大村書記長を訪ねて見ると▲相も變らず選擧のとは投票函をあける迄は何とも言へませんよと空嘯く▲土俵際で大番狂はせを演ずるは相撲ばかりぢやありませんからナ、全體世の中は自から進むべき轍と出るに及ばない塲合とある▲今度の選擧で趙鎭泰白完爀、韓相龍氏等鮮人側の牛耳を握れる實業家が陣頭に立ちたるは前者に屬し日本人側の一級有權者が一齊に移入候補者を迎へらるゝは後者に屬するかも知れませんな、てなことを煙草の煙と一所にパクリく

●拾參萬圓差上げやう

日本人を尋ねて廻る露西亞人　夢のやうな福運に誘はれて浦鹽へ

果報は寢て待てといふ事がある、全く福の神は何時何處から飛び込んでくるか分らないものだが此處には

▲お伽噺にでもありさうな

夢の樣な話がある、今開城の某金鑛事務所に事務員をしてゐる柾屋といふ人がある、越後の新潟の資產家で今から數年前內地に居る時某露西亞人と共同で沿海の漁業に從事し巨額の資財を注ぎ込んだ揚句が時利あらずして失敗したため其事業の見限をつけると共に土地にも居堪らず朝鮮に流れ込み落魄して前記の金鑛事務員とまで成り下つたが一緒にやつた露西亞人は引續いて經營を續けてゐると今度の歐洲戰亂その他の事が原因になつてトンく拍子に儲け出し忽ちの間に

▲莫大な金を得たところからその以前共に手を携へて事業に當り不幸失脚して行衞不明となつた異邦の友の身の上を思ひ出し畢竟今日の成功もその相手であつた柾屋某の出資に因る事であれば此の際其所在を探がして救ひ出さうこ健氣にも決心し東京の知己友人等に普ねく依賴し捜査中であつたところ朝鮮に入り込んでゐるといふので此の程態々人を京城に派して調査の結果一兩日前

漸く開城にゐる事を突き止め面會したがその結果露西亞人は

▲金十三萬圓を　昔は兎に角今では一金鑛事務員たる柾屋氏に提供しようといふ事になり柾屋氏もその厚意を受けるに決し四五日中にその露西亞人の居る浦鹽に赴いて十三萬圓を受け取つてくる事になつたとは嘘の樣な事實である

●家を燒き家族を追放せん

朝鮮人間の私刑

京畿道漣川郡韓江面巖洞里朴釜賢方に一名の氏名不詳の朝鮮人がつと這入り來り自分は鑛山技手にて京城より來れるものなるが巖洞里附近の礦金鑛を西地踏査したきに依り汝に其の案內方を依賴すと申し込みたり依つて釜賢は別に拒む意もなく快諾して案內をなしたり然るに是を聽き込みたる巖洞里長李光運、同面にて外三里の里長李庭鎬、朴稀賢の三名は密かに協議し若し居洞附近に於て砂金の採掘を開始さるゝ時は其損害を蒙る事多大なるべく尙目下同里は衰運に傾きつゝあるの有樣なるに是以上損害を受くる時は到底自活の途なきに至らんと憤慨し朴釜賢が里民に對し無斷にて鑛山技手と稱する者を賺手次第に案內し實地を踏査せしめたるは以ての外の不埒なり斯かることを働きたるものは同地方舊來の慣習に基きて宜しく處分すべく居家は之を破壞し家族は他村に追放すべしと煽動し本月四日午後一時頃五十七名の地方里民は一團となりて前記朴釜賢方に赴き一汝の行爲は舊來の慣習上見逃すべからざる事なり依つて家宅は破壞し家族は放逐すべき次第なるも道回は特に免じて居宅のみは破壞せざるも家族は退去すべしと脅迫し同家の門札を搔つ浚ひ威喝して引揚げたり爲めに釜賢方にては已むなく家族引纏め其夜自宅を空家となしおき同里の親族某方に引越したり右の事件を其後所轄中里憲兵出張所員の探知する所となり朴を召喚して家族に保護を加へ一應取調べをなしたり尙ほ現場事實取調べの爲め韓洞里分遣所長楊州憲兵分隊長等も同地に出張し關係者を引致取調中

●三千枚の年賀郵便取集袋

龍山局の新案

龍山郵便局では朝鮮の郵便局では未だ始めての試みである年賀郵便取集め袋と云ふものを三千餘枚新たに作つてこゝ兩三日の間に新舊龍山の約三千軒の各戶に配ることになつた、齋藤龍山郵便局長の談を叩いて此袋の由來を尋ねて見るに年賀郵便の特別取扱ひは例年の通り今年も此十五日から二十九日まで取扱ふ筈であるが來年の新年は　聖上陛下御登極後始めての最とも目出度い新年であるから年賀狀は極めて多からう、昨年に較ぶれば或は倍位の多きに達しはしないか——と見込みのあるのに龍山郵便局で昨年よりは多少人手が減つて居るから萬事手拔かりなく滯りのない樣にしたい年賀郵便丈は二十九日までに取扱かつて了ひたいと云ふ郵便事務の上から割り出でた新らしい試みである、いつもの事でもあり又何處の郵便局でも同じ事だが年賀郵便は二十九日の最終日に澤山な束を投り込む人が多いが澤山纏襲して居る塲合はどうしても遲れ又內地や滿州邊には元日の朝に著かぬ事もあるから年賀郵便丈は何を扱て措いても早く認めて郵便局から受け取つた取集め袋に入れて差し出しさへすればよいので、若し此袋の來てない家があれば郵便局に電話か端書で請求すれば貰へることになつて居る

●夜中地下の銅線を切斷す

京城唐珠洞嚴基成(二二)同竹添町二丁目朴聖天(三三)同人弟朴聖道(二〇)寳貞洞李基容(二三)等の勞働者は共謀の上本年八月二十五日午後九時頃京城電氣會社龍山車廠浦線孔德里より京城監獄前迄の地下線裸銅線三十斤餘を鋸にて切斷窃取し竹添町三丁目の古物商姜善鎬へ七圓二十錢にて賣却し代金は各分配したるを手初めに尙九月八日午後十時頃同線阿峴居獄所前にて前同樣二十斤餘を窃取し之を前同の古物商に六圓二十錢にて賣却し九月二十三日夜は東大門線にて二十斤餘十二月一日夜も同線にて七貫餘を窃取したる所を鍾路署の警官に取押へられたるものにて贓品は右姜善鎬に於て處分し其の被害全額にて三百七十六圓八十錢の多額に達し居れり

●五十人を引率して暴行す

鐵道工事請負人

咸北淸津會寧に於て目下工事中の鐵道線路第一號隧道を開鑿中の下請負人板見龜八は自己使役の人夫に對し賃金の支拂方に窮したる結果元請人山下繁藏に對し千八百圓の前借金を申込みたるも同人の之に應せざりし爲め本月九日午前十時頃人夫約五十名を引率して山下方に至り脅迫暴行をなしたる爲め所轄蒼坪憲兵派遣所にては時を移さず現塲に出張し關係者十數名引致目下嚴重取調中（淸津）

●猩紅熱朝鮮娼妓を冐す

京城北米倉町娼家葛市金花峯(二三)は十二日午前六時頃發病十三日午後一時檢診の結果疑似猩紅熱と判明し早速順化院へ入院加療中

●浮浪者の檢擧

京城鍾路警察署にては以前より管內の浮浪者檢擧に努め居れるが本月十一、十二の兩日間に數名を檢擧し目下取調中

●女學校に猩紅熱

京城市外高陽郡龍江面矢野政代子(一〇)は京城高等女學校第二學年松組なるが十二日診斷の結果猩紅熱と判明す

●鬼許りは住まぬ

山形縣生れ當時京城花南洞居叶內間三次郎(三四)は以前京城煉瓦工場に工手として二十餘圓の俸給を受け勤務中本年夏頃より肺病に罹り遂に退職の已むなきに至り目下前記の箇所に妻子と共に細き煙にて加療中なるも貧と寒とに攻められ猶重態なるより附近內鮮人は鍾路署警官と共に見るに見兼ねて度々金品を施與する所あり先頃同洞飲食店櫛田夫婦の如きは同人の爲め叶內の信仰せる若草町曹洞宗別院に物語る所ありて同院にては奇特にも見舞として現金一圓白米一斗を惠みやり尙ほ同院より山形縣人會に交涉しやりて幾分の救助方を斡旋する所ありたり

▲曾て三井男と岩崎男が朝鮮ホテルへ投宿中三井男がボーイへの心つけとして五百圓投げ出したのに岩崎男は三十圓より出さず▲それでも五百圓出した三井男より評判がよかつたといふその岩崎男が關釜連絡船の客となつた▲連絡船のボーイと言へば本給より貰ひを稱する心づけを目當にしてゐるものが多く名士富豪の乘船した塲合は二十圓とか三十圓とか部屋附ボーイに吳れるのが常になつてゐるので▲日本一の大金持岩崎男の事なら少なくとも五十圓或は百圓札位はポンと投げ出されるだらうと喜んでゐた所▲イザ下船といふ時これは少ないがと袋に入れて差出されたのを見ると正に金一圓也なのでボーイ連中此の所金を拾つた夢の醒めた態▲元共進會の女看守で今培洞普通學校長の下女になつてゐる某といふのが此程貰つた八圓の慰勞金で市內の唐川呉服店で反物を買ふと米一俵當りその剩錢で化粧品を買ふと反物が當つたので大喜び▲此のお目出度をキッカケに嫁入の支度最中だとか

歲暮大賣出し

砂糖麥粉製菓原料卸商　Ⓛ　京城南大門通三丁目　上田商店　電話一五〇七番

砂糖……切手、樽詰、箱詰、袋詰

●特價發賣申込の好時●

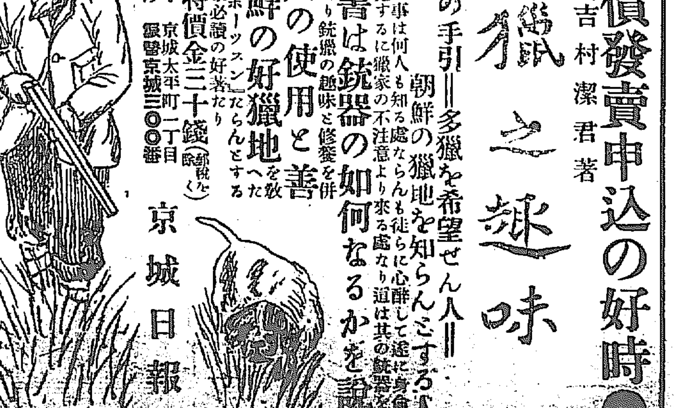
銃獵之趣味　青坡吉村潔君著

見！銃獵の手引＝多獵を希望せん人＝

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損う者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり這は其の銃器を悉知せざるが爲なり本書は銃器の如何なるかを說き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地を敎へたる處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價四十錢　特價金三十錢（郵稅とも）

發行所　京城太平町一丁目　京城日報社　振替京城三〇〇番



浪板洋釘土工用具
石油揮發油諸油
大谷金庫建築金物
消防用具類
和洋ストーブ
◎地方よりの御注文は代金引換を以て迅速に御發送可仕候

京城本町一丁目　諸官衙御用達　佐野彥商店　電話一六三番　振替京城一二〇番

醫化學諸器械

Ⓚ　仁川本町　北島藥店　電話三四〇　振替京城六七番

京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番

藥種賣藥卸商

資本金　壹百萬圓
政府貸下金　三十二萬九千二百圓
農工債劵發行高　百參拾萬圓

銀行長　白完爀
支配人　遠山熙

株式會社　漢湖農工銀行　京城南大門通二丁目　電話（四五二・五五一・五七四番）

支店（開城、春川、江景、太田、公州、鐵原、淸州、忠州、論山）

當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

千生瓢（69）

須藤南翠作 筒井年峰畫

驍將（九）

黒田官兵衛亮孝高は、我が子を首尾よく落し遣つて、直ちに備へを立て直し、母里太兵衛、後藤又兵衛、黒田小左衛門に後陣を守らせ、其身は第一陣に挺身して、越前勢のかゝるのを今や遅しと待つて居た。

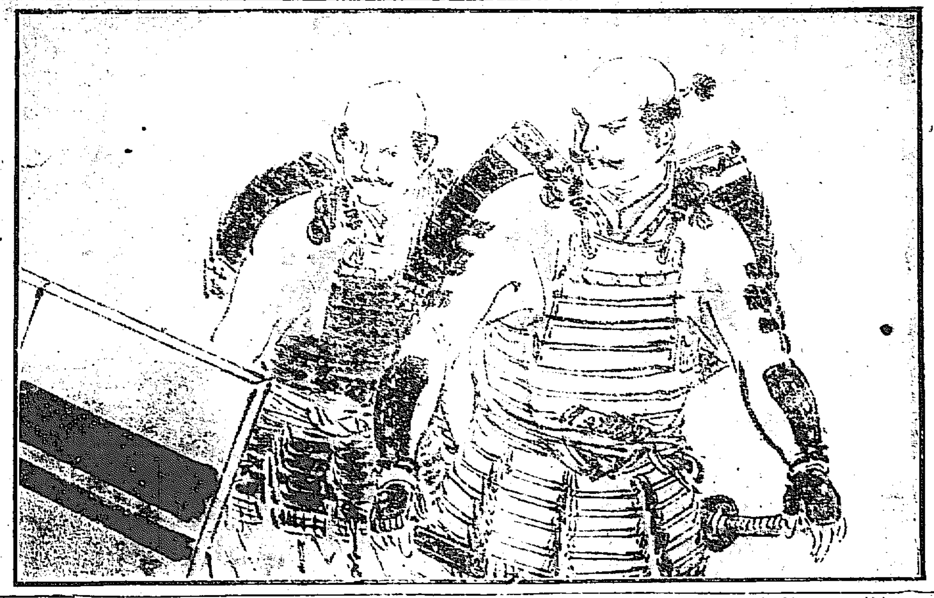
然るに、佐久間の大軍は、此手には寄せずして、賤ケ獄へ寄すると聞えて不審を生じ、其が爲に兩人も實を以て對へたものと見える。今は是非に及ばぬ、黒田の家の存亡は、神々の冥護に託して、死を一途に決するより外はないと覺悟した。

近き來る長政の軍容を見ると、取つたる首を槍に貫ぬいて、兵士に擔がせ、中央には長政、前後には小寺、栗山、百有餘騎を引率して、堂々としく、鯨波の聲山獄を轟かして、潮の如く進軍する。孝高此體を見て、賤ケ獄はこの要害の咽喉である。彼處一たび破れては、全軍一箇所も保つべき筈はない。桑山修理亮、羽田長門守は、名ある大將であるから、如何なる方便を運らして、越前勢を惱ますかは知らぬが、彼の梟雄な北國勢が、而も新勝の勇氣猛烈なる、容易に當ることは至難しい。よし、よし、此砦を虛しうして、彼の陣を援けねばならぬと、速かに赴援の支度に取り懸つた。

其處へ門外の哨兵から、

『若殿御歸陣！』といふ注進があつた。

孝高はハッと思つた。折角賺して伴れ出したにも拘はらず、途中に於して柵門を入る光景は、殆ど凱旋の大將を迎へる心持であつた。孝高は早速座に引いて、小寺、栗山に仔細を糺した。



『小倅の目前の孝に迷つて、永遠の大孝を辨へぬ所業、甚だ頼母しからぬわ。去りながら、敵に會うて尋常に立ち合ひ、折勝たのは、流石に侍士の子ぢや。して殘る二騎は如何致いた』

『一騎は左手を斬り落しましたが、首を附けて逃しまいた。今一人は逃足速く、無念ながら討ち漏らしておざりまする』

『一旦太刀を著けた敵を、逃すといふ法があるか、今一騎を漏らしたのも、言甲斐ない未熟者め』

孝高はキッタと睨め附けた、長政は二言となく屈服した。で、黒田勢は陣所を雜兵にうち任せて、總勢殘らず賤ケ獄へ援軍に赴いた。桑山、村田の兩將は、此の有力な援兵を得て、轍鮒の水を得た如く悦び迎へた。孝高城中に來て見るに、敵來襲の知らせは、櫛の歯の如く來る中で、持場々々の備へが一向に整つて居らぬ。

『入らざる指揮おざらうが、孝高一旦入城致いた上は、此分にては合戰致され申さぬ、先づ以て陣立を嚴重に沙汰せられい』

孝高が言ふ尾に縋つて、桑山は頻りに頭を掻きながら。

『敵餘りに猛勢おざれば、未だ和戰の覺期も決せず、隨つて備へとても整ひ兼た儀でおざる』と陳謝した。

『此要害を受取りながら、死するまでも戰はぬ法はおざらぬ、今晩の早馬、未申の頃及には、定めて大阪へ著到致さう、さすれば明日は筑前殿の加勢參つて、味方の勢も多人數となり、北國勢を喰止める事はおまで難澁とも存じ申さぬ、只其までの間、如何にもして敵を支へるが、大事の儀おざらう』

孝高は重ねて斯う言つた、羽田長門守を頼りに點頭いて。

『筑前守殿、果して引つ返して御出張下さるゝならば、我等の一命を捧げて、共まで力めて支へ申さう』

『筑前守の敵は、岐阜殿おざらぬ、瀧川おざらぬ、唯一人の柴田おざる。其柴田に大事の切所を破らせて、急ぎ軍を廻らさぬ程ならば、我等とても此處で死なうとは存じ申さぬ、申さば此處の破れると、破れぬとは、筑前守の首の飛ぶか、恙ないかの境おざるわ』

孝高は深く恃む所のあるやうに、しつかりした調子で說き聞かせた。

新刊紹介

▲新女界（十二月號）定價金十二錢東京小石川區林町四三新人社

▲希望（十二月號）定價金十二錢東京小石川區富坂一番洞社

▲海紅（十二月號）碧梧桐氏の『嗚呼此の六朝佛』は朝鮮旅行中の作や其他記事豐富（一冊二十錢東京上根岸七四海紅社）

▲中學校の硝子窓の中より（越智綠葉二氏著）中學生叢書の第一篇として出たもので讀書慾の旺んな學生への適當な讀物として試みられたもの丈けあつて到る處に溌剌たる清新の氣の溢つてゐるのは先づ悦ばしく元氣の裡に深い何物かを思はせる箇所も鮮くは立派に芽萌える事であらう（定價金卅五錢大阪市北區北野茶屋一九九中學生叢書發行所）

▲契約書式大全（龜谷正司氏著）法律と云ふものが世間一般に非常に面倒に解釋されて一寸した書式上の智識も無く其爲めにしないでもいゝ損をしたりする事が隨山ある夫れに對する通俗的な智識を與へ一通りの債券債務貸借賣買等の契約關係が說明してある至極便利なもの（定價金九十錢東京市小石川區東青柳町一丁目東亞堂）

商況

大阪株式市場

[illegible]

東京株式特電

[illegible]

仁川米豆取引所

[illegible]

▲本日の現物界

[illegible]

入院随意（診療夜九時迄）

泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病 専問

永樂町二丁目 金光教會隣 安部醫院 電話一九四番

かぜ ねつ 最良藥 にせ物あり 商標に注意

アンチピリン丸

■かぜ ■ねつ ■頭痛 ■流行性感冒 ■おこり ■マチ ■熱疹

三大特長 三貴藥の配伍 三副作用なし 三胃中に溶易し

十錢、十五錢、廿五錢 徳用入五十錢

本舗大阪丹平商會 東京

賣捌は全國各藥店に

色白くなる ゲンソ液 日ッケタラ鏡をごらん

今東京で大評判の白美の元素

アレ、防ぐキメ、コマカに色艶を増し

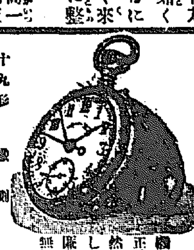
日ヤケおしろいヤケを防ぎ男子の髭ゲソリ後朝夕洗面後入浴後によく其の美人薬男子となる其他いろいろの特効あり

本舗 東京神田和泉橋際 松本藥店

全國の藥店小間物店にあり近所に品切の時は直接本舗へ郵券代用御送附あれば直送す ●定價廿錢徳用四十錢

満蒙處分論 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番 定價金一圓 郵税本社負擔

●新荷著アンクル式片側懐中時計●



機械堅牢示針正確精巧優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

[illegible]

店には今回新著の商品にて本間會特別の伏にて[illegible]

時計寶石貴金属、ミシン機 自轉車 洋酒 各國直輸入商 イングレッシー商會 京城本町二丁目 電話九七

吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の效力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別種にも仕掛けもあるのではありません。只世界の有りとあらゆる麻病梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる麻病、梅毒藥でも、効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月八日の京城日報を御覽下さい。

●ばい毒藥一週間分普通武圓特製參圓 ●りん病藥壹週間分普通武圓特製參圓 ●照會は返信券を要す

りん病 ばい毒 專門藥房

京城南大門外停車場通り ドラッグ商會 朝鮮本部

本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會

電話 二五六七番 振替京城四六七番

クラブ白粉

使へば使ふほど自然にお顔の生地迄白くなる

宮内省御買上

皇后宮職御用

不思議に生地の色までも白くそる

クラブ白粉は

各宮家御買上

最近發明のクラブ本店獨特の美身劑を今回新に配合せり

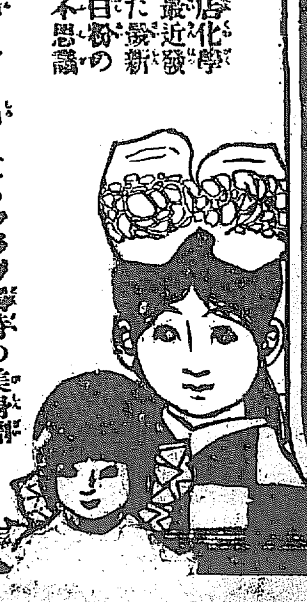
他の白粉に付け眞似の出來ぬ特長

李王家御買上

クラブ本店化學研究部で最近發明しました最新式クラブ白粉の原料には不思議に生地の色までも白くなるクラブ獨特の美身劑が配合してありますから附けた時に高尚で美しい艶が出るばかりでなく洗つた後の

生地の色までも白く美しくなるので近來東京大阪は勿論全國大都市の御婦人間には白粉はクラブばかりが用ゐられるようになりました

クラブ白粉は附けて高尚で非常に美しく洗つた後の生地の色までも白くなる不思議な白粉であります



釀造元 福岡縣三井郡 富安本店

發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番